

浜 松 市 教 育 委 員 会 会 議 次 第

令和 6 年 5 月 2 9 日 (水)

1 4 時 0 0 分

教 育 委 員 会 室

1 開 会

2 前回会議録の報告及び承認

3 会議録署名人の決定 (神谷委員、鈴木委員)

4 会期の決定

5 議 事

(1) 議 案

【意見聴取案件】※非公開

第 32 号議案

第 33 号議案

【議決案件】

第 34 号議案 令和 5 年度教育委員会評価・点検報告書 (案) について (教育総務課)

第 35 号議案 浜松市博物館協議会委員の委嘱について (博物館)

(2) 報 告

ア 令和 6 年度浜松市放課後児童会登録児童数及び待機児童数について (教育総務課)

イ 令和 5 年度学校施設等の被害状況について (教育施設課・幼保運営課)

ウ 取下げ

エ 令和 5 年度問題行動、いじめ及び不登校の実態について (指導課・教育支援課)

オ 令和 6 年度浜松市奨学生 (継続貸与者) の選考結果について (教育支援課)

カ 浜松市博物館資料紛失に係る対策の進捗について (博物館)

6 閉 会

第 3 4 号 議 案

令和 6 年 5 月 2 9 日 提出

令和 5 年度教育委員会点検・評価報告書（案）について

令和 5 年度教育委員会点検・評価報告書を次のように策定する。

教育長 宮 崎 正

令和5年度 教育委員会点検・評価報告書



令和6年5月



浜松市教育委員会

目 次

I 点検・評価の概要	
1 経 緯	1
2 目 的	1
3 点検・評価の対象	1
4 学識経験を有する者の知見の活用	1
II 教育委員会の活動状況	
1 教育委員会定例会・臨時会	2
2 教育委員会協議会	2
3 移動教育委員会	3
4 総合教育会議	5
5 その他会議	6
6 会議以外の活動	6
7 広報活動	7
III 点検・評価の結果	
1 第3次浜松市教育総合計画 後期計画 体系図	9
2 各政策・施策の評価・検証	10
政策1 自分らしさを大切にする子供を育てます	
政策2 夢と希望を持ち続ける子供を育てます	
政策3 これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供を育てます	
政策4 一人一人の可能性を引き出し伸ばします	
政策5 園・学校や教職員の力を向上させます	
政策6 子供の生活や学びを支える教育環境づくりを進めます	
政策7 家庭や地域の力を生かした取組を推進します	
3 重点施策に関する調査結果の分析	79
IV 教育長・教育委員、有識者の意見	
1 教育長・教育委員の意見	88
2 有識者の意見	90
V 令和5年度の評価と今後の方向性	
令和5年度の評価と今後の方向性	93
VI 【参考】教育委員会議案等と附属機関及び庁内会議	
1 教育委員会議案・報告事項	94
2 教育委員会の活動状況	98
3 附属機関及び庁内会議	100

I 点検・評価の概要

1 経緯

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)が一部改正され、すべての教育委員会は、平成20年4月から「毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに、公表すること」が義務づけられました。

また、点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

2 目的

主要な施策の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育施策の推進を図ります。

また、教育委員会の活動状況と併せた報告書を作成し、議会への提出や公表をすることで、市民に信頼される教育行政を推進します。

3 点検・評価の対象

本報告書では、教育委員会の活動状況、教育施策の推進や改善のために設置されている附属機関、庁内会議の活動状況などのほか、「第3次浜松市教育総合計画 後期計画～はままつ人づくり未来プラン～」(以下「後期計画」という。)に掲載の施策や取組を点検・評価の対象とします。

施策の点検・評価は、後期計画の令和5年度における成果指標の達成状況や取組状況調査等に基づいた、評価・検証の結果を活用します。

《第3次浜松市教育総合計画 後期計画》

第3次浜松市教育総合計画 《基本構想10年》										
H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
前期5年					後期5年					

《取組状況調査 調査対象》

- ・市立小中学校 144校(小学校96校、中学校48校)
- ・第3次浜松市教育総合計画 後期計画 関係課 26課

《実態把握調査 調査対象》

年度		R2	R3	R4	R5	R6
調査方法		抽出	抽出	全校	抽出	抽出
児童	G1(48校)	小4	小5	小6		
	G2(48校)			小4	小5	小6
生徒	G1(24校)	中1	中2	中3		
	G2(24校)			中1	中2	中3
保護者		調査対象校の児童生徒の保護者				
地域住民		調査対象校の地域住民				
教員		校長、教頭、主幹教諭(教務主任)、授業を担当する正規教諭・任期付教諭、臨時的任用教諭、再任用職員(フルタイム)				

4 学識経験を有する者の知見の活用

「第4次浜松市教育総合計画策定委員会」や重点施策等について協議する推進部会※に参加する有識者から意見をいただきました。

※策定委員会の下部組織として子供の「生きる力」や「魅力ある教育環境整備」など、第4次計画の重要施策に関する3つの部会のほか第3次計画の評価・検証を行う部会を設置。

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1 教育委員会定例会・臨時会

教育委員会は、毎月1回の定例会に加え、必要に応じて臨時会を開催しました。

会議では、市議会提案議案に対する意見聴取をはじめ、教育委員会規則の改正等の審議のほか、全国学力・学習状況調査の調査結果や博物館・美術館の事業等に関する報告に対して、各委員から様々な視点で意見が出され、活発な協議が行われました。

(1) 開催回数等

年度等	令和4年度	令和5年度
開催回数	13回 (定例会12回、臨時会1回)	15回 (定例会12回、臨時会3回)
開催時間	1時間4分	1時間13分
傍聴者数	34人(延べ人数)	51人(延べ人数)

(2) 審議案件 ※審議・報告案件の詳細は P94 参照

内容	令和4年度	令和5年度
①議会提出議案等に対する意見	19	14
②人事に関する事	17	19
③教育委員会規則・規程等の制定・改廃	18	18
④教科書採択	2	2
⑤計画の策定	1	0
⑥教育委員会点検・評価等	1	0
⑦文化財の指定・解除	0	1
計	58	54

2 教育委員会協議会

教育委員会協議会は、定例会に合わせて開催し、教育課題などに対する国・県の動向や本市の状況、今後の方向性などについて、事務局から適宜報告を行いました。

(1) 開催回数等

年度等	令和4年度	令和5年度
開催回数	12回	12回

(2) 主な報告事項

- ・いじめ問題への対応に関する事
- ・放課後児童会の運営委託化に関する事
- ・全国学力・学習状況調査に関する事
- ・幼稚園・保育園の適正化等に関する事 など



3 移動教育委員会

教育長の講話や参加者との意見交換を通じ、開かれた教育行政の推進を図るとともに、本市の学校教育について理解を深め、いただいた意見を今後の施策に反映させていくことを目的に毎年度開催しています。

今年度は、第4次浜松市教育総合計画の策定に向けて、本市の教育に重要と考える取組や「魅力ある教育の推進～教員を目指す方へ～」をテーマに、移動教育委員を開催しました。

(1)開催回数 3回 (R4 : 3回)

(2)参加者 187人 (R4 : 92人)

(3)開催内容

	会場	日時	参加者	内容等
第1回	教育会館 ・ 2階会議室	9月9日(土) 14:00～ 15:30	浜松市 PTA 連絡協議会 (保護者代表) 33人	浜松の教育に必要な取組・目指すべき学校のすがた等について意見交換を実施。(2グループ)
第2回	クリエート浜松 ・ 5階51・53会議室	12月7日(木) 19:00～ 20:30	教員を目指す方、目指したいと考えている方 (公募) 14人	教員採用の現状について、教職員課から説明の後、「浜松の学校、浜松の教育に対する期待、希望等について」をテーマに意見交換を実施。(2グループ)
第3回	教育会館 ・ 1階大会議室	1月16日(火) 14:00～ 15:30	コミュニティ・スクール担当教職員 140人	学校運営協議会の自校の熟議例や、来年度に向けた課題、コミュニティ・スクール担当教員としての悩みなどをテーマに意見交換を実施。(31グループのうち、5グループで教育長、教育委員と意見交換)

(4)参加者からの主な意見(意見交換、アンケートより)

	主な意見
第1回	○子供が自分で未来の目標を見据えられるような教育環境が重要である。親世代が知らない職業や生き方があるため、いろいろな人が関わってサポートしていく必要がある。 ○インターネット利用に関するルールやマナーのほか、公共の場でのふるまいなどの規範意識を身に付けてほしい。 ○ICT活用を推進してほしい。Excel や ChatGPT 等のソフトを使えるようになってほしい。 ○発達支援学級が充実する一方で通常の学級との隔たりを感じる。多様性やインクルーシブの考え方に逆行しているのではないかな。 ○教員の資質向上のための働き方改革には賛成だが、子供たちに還元されるような研修等をしていただきたい。第4次教育総合計画では教員の資質向上に取り組んでほしい。

	主な意見
第1回	○部活動の地域移行について、さまざまな選択肢を用意してほしい。子供も保護者も今後の判断に迷うため、現在の議論や今後の方向性は、情報共有してほしい。 ○浜松で育った子供に地元へ帰ってきてもらうには「郷土愛をはぐくむ特色ある学校づくり」が非常に重要である。 ○地域間の学力格差解消が必要である。 ○第4次教育総合計画では、前計画の取組状況を踏まえて改善に取り組んでいただきたい。各学校が実施できる具体的な取組が必要だと感じる。
第2回	○キャリア教育に魅力を感じている。授業の中で子供の資質能力を育てていくという教育方針に期待している。 ○教育実習で教員の協力体制がしっかりしていると感じた。また、運動会などの行事では地域の方も協力し、地域と共に子供を育てているという実感があつた。 ○不登校や複雑な家庭環境の子供、保護者からの相談対応に不安があるが、ベテラン教員や先輩教員の対応を見て、学んでいきたい。 ○不登校の子供が、学校や社会に復帰するための複数の選択肢があると良い。 ○特別支援学校や発達支援学級に在籍する子供を社会に送り出すサポートがしたい。今後、特別支援教育に携わり、子供と向き合いながら資格取得を目指したい。 ○特別支援学校と関わる機会が少ないため、もっと交流を持つ機会を増やすと良い。 ○学校内で実技科目の教員数が少ないため、授業づくりなどについて悩むことがあると思うが、研修等の機会を通して先輩教員と交流しながら経験を積みたい。 ○中学校部活動の地域移行について、今後の方向性が気になっている。さまざまな検討がされているため、情報発信される議論の内容を注視したいと思う。
第3回	○学校運営協議会では学校運営方針や防災について熟議し、地域とともに防災訓練や炊き出し訓練などの活動につながった。 ○学校評議員制度より学校運営協議会は意見の量も多く、視点も幅広いと感じる。 ○会を重ねるうちに学校運営について活発に意見をいただくようになり、学力向上や子供の孤立への対応など、熟議の結果、学習ボランティアや見守り活動へ発展した。 ○学校支援コーディネーターが用意したボックスに、教員が頼みたいことや相談を入れておくと、内容を見て教員に確認し、想定以上の対応をしてくれる。地域の協力者への依頼やお礼まで丁寧に対応してくれて助かっている。 ○学校支援コーディネーターが忙しく、担当教員がC S窓口になっている。週1日学校に常駐してもらえたら他の教員との話し合いや交流のきっかけになると思う。 ○学校支援コーディネーターが担う部分と学校が担う部分の線引きが難しい。また、学校運営協議会の運営においては、コミュニティ・スクールディレクターが活動しているが結果的に教頭の業務が増えていると感じることもある。 ○コミュニティ・スクールの理解度は教員によって差がある。 ○学校運営協議会委員が一斉に入れ替わることのないよう計画的に更新したほうが良い。

4 総合教育会議 2回 (R4: 2回)

市長と教育委員会が、円滑に意思疎通を図り、本市における教育の課題及び目指す姿等を共有し、連携して効果的に教育行政を推進するため、以下のとおり会議を開催しました。

第1回	日 時	令和5年9月15日(金) 15:30 ~ 17:00
	傍聴者	1人
	テーマ	・浜松市教育推進大綱について
	主な意見	○学校教育以外の幼児教育や生涯学習についても、触れられるとよい。 ○分かりやすさが大事。浜松市が何に取り組んでいきたいのか、誰が見てもはっきりと分かる形がよい。 ○意識的に保護者や地域の方が学校教育に関わっていただくことは、子供の成長にとっても安心安全な地域をつくるという観点において大切である。 ○浜松市のよさや価値が市民や子供に伝わっていないのではないか。子供が小さな時から地域の魅力を伝えていけるとよい。 ○地域で子どもを育てることと、浜松市全体で子供を育てることが大事。
	テーマ	・教育総合計画策定について
	主な意見	○支援を必要とする児童生徒への対応について、浜松市はかなり手厚くやっていると思うが、更なる手立てが必要ではないか。 ○働き方改革は、今までの古いやり方や習慣を新しくするチャンスである。単に働く時間を短くするのではなく、子供と向き合う時間を確保するという目的を忘れずに取り組む必要がある。 ○ICTを活用するなどして、誰も取り残されることがなく、基礎基本がしっかりと学べる教育が必要ではないか。
第2回	日 時	令和5年12月26日(火) 15:30 ~ 16:30
	傍聴者	3人
	テーマ	・浜松市教育推進大綱について
	主な意見	○分かりやすさが大事なので、A4で1枚程度にまとめられるとよい。 ○5年を目途に内容を見直して、変更等の必要がなければそのまま継続していけばよい。 ○いろいろな場面で違う言葉を使うと分からなくなるので、同じ言葉を使っていけるとよい。教育総合計画や教育推進大綱、生涯学習大綱等も同じ言葉が使われていて、それが心に残るようになればよい。 ○教育分野以外の学術・文化等の心の豊かさを求めるような文言が入るとよい。

教育委員会、総合教育会議の会議録は、浜松市ホームページで公開しています。以下の二次元コードからご覧ください。

《教育委員会定例会》 《移動教育委員会》 《総合教育会議》



第2回総合教育会議

5 その他会議 6回 (R4: 6回)

月日		会議名
4月	28日	浜松市奨学生選考委員会
7月	11日	第1回第4次浜松市教育総合計画策定委員会
10月	26日	浜松市奨学生選考委員会
11月	14日	第2回第4次浜松市教育総合計画策定委員会
	24日	指定教育研究報告会
2月	20日	第3回第4次浜松市教育総合計画策定委員会

6 会議以外の活動 23回 (R4:24回)

月日		会議名
4月	12日	校長会議
	26日	静岡県市町教育委員会連絡協議会理事会
5月	8日	浜松教師塾開講式
	24日	全国市町村教育委員会連合会定期総会
	26日	関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会
7月	14日	三遠南信教育サミット
	20日	教科書採択勉強会
8月	2日	教育研究会第2回研修会
	29日	第1回総合教育会議勉強会
10月	23日	教育総合計画策定委員会勉強会
11月	9日	静岡県市町教育委員会研修会
	10日	指定「研修幼稚園」保育参観
	27日	第2回総合教育会議勉強会
	28日	学校運営協議会視察
12月	6日	人事関係業務
	11日	人事関係業務
	12日	学校運営協議会視察
	15日	学校支援コーディネーター研修会
	19日	第2回総合教育会議勉強会
1月	7日	浜松市はたちの集い
2月	2日	研究員研究発表会
	7日	県・政令市教育委員会意見交換会
	21日	第15期浜松教師塾発表会及び修了式

7 広報活動

(1) 浜松市ホームページ

就学に関する手続きをはじめ、各種相談窓口の案内や教育施策などについて情報発信を行いました。

《浜松市ホームページ 子育て・教育》



(2) リーフレットの発行・配付

●第3次浜松市教育総合計画 後期計画 ～はままつ人づくり未来プラン～

第3次浜松市教育総合計画 後期計画の概要や、主な取組内容を理解していただくため、市立小中学校の全ての保護者へ配付しました。



《はままつ人づくり未来プラン》

●コミュニティ・スクール

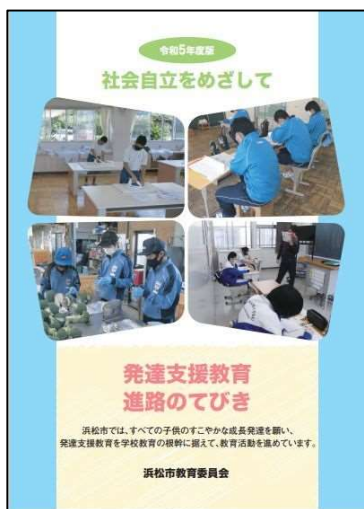
コミュニティ・スクールの仕組みや、取組の様子を理解していただくリーフレットを発行し、学校運営協議会未設置校の保護者へ配付しました。

●発達支援教育

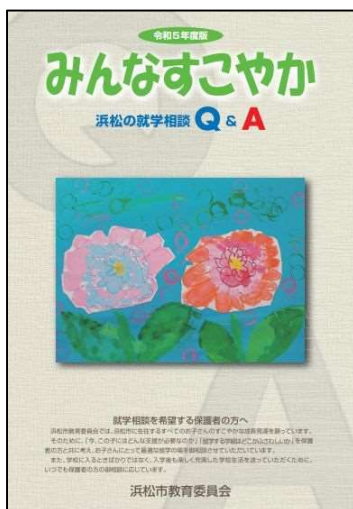
支援を必要とする子供の就学先の相談を案内するために、様々な学習の場や就学までの手順・流れに関するリーフレットを発行し、保護者や園等へ周知しました。また、社会自立を目指して、中学校卒業後の進路先や相談窓口に関するリーフレットを発行し、保護者へ周知を行いました。

●全国学力・学習状況調査

今年度の全国学力・学習状況調査の結果や本市の取組をまとめたリーフレットを発行し、保護者へ周知を行いました。



《社会自立をめざして》



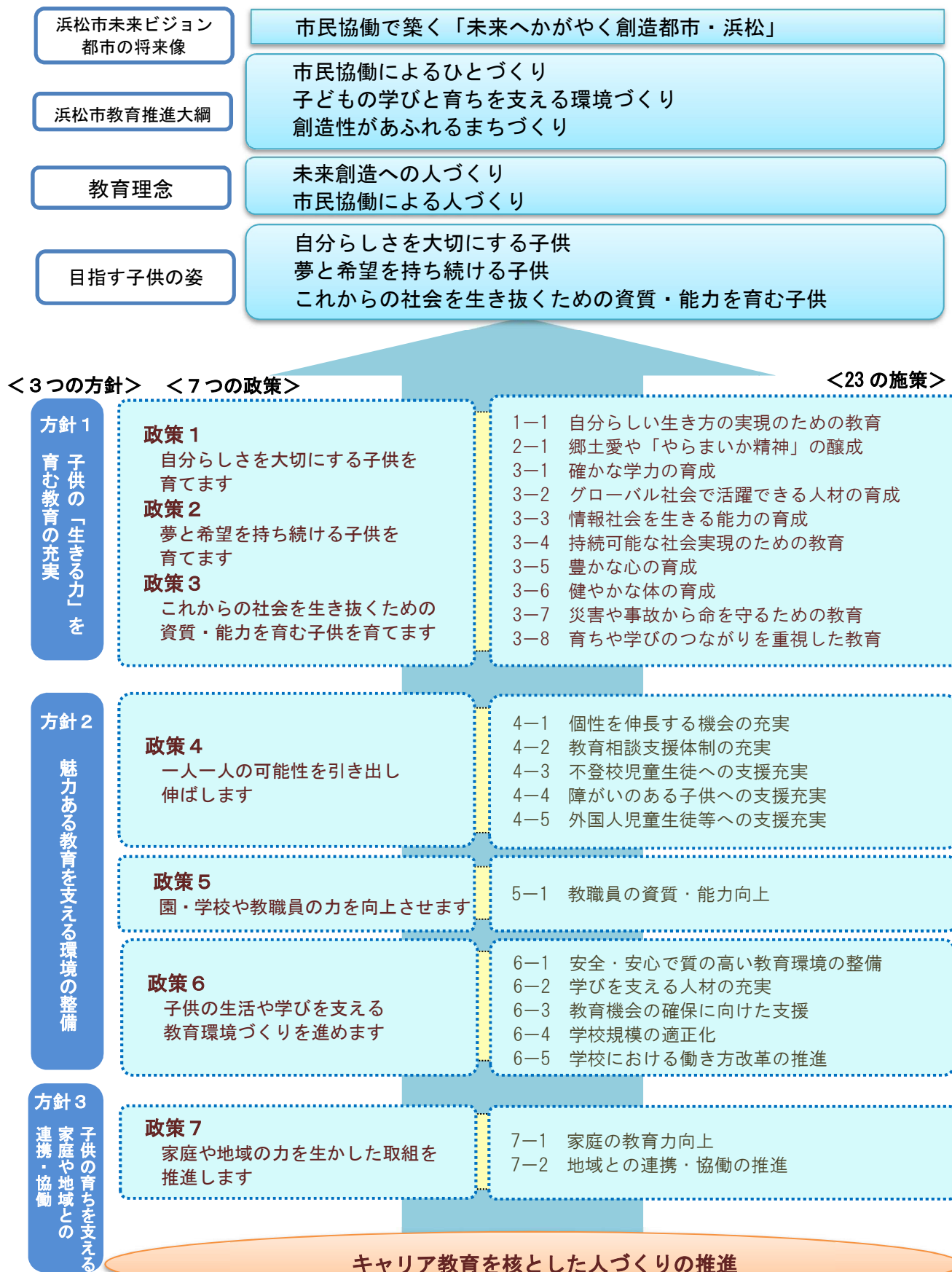
《みんなすこやか》



《全国学力・学習状況調査》

第2章 各政策・施策の評価・検証

1 第3次浜松市教育総合計画 後期計画 体系図





政策 1

自分らしさを大切にする子供を育てます

施策 1-1 自分らしい生き方の実現のための教育

成果指標

※R5年度数値…G2全体の数値

将来の夢を持っている子供の割合	R6 年度 90%	R5年度 ➡ 78.6%
自分にはよいところがあると思う子供の割合	R6 年度 85%	R5年度 ➡ 76.6%
自分のよいところを生かしながら活動している子供の割合	R6 年度 80%	R5年度 ➡ 74.4%

■1-1-1 キャリア教育の推進

《関係課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施 …年度内算定不可

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
キャリア教育に関する実践事例、先進事例の情報発信	A	教育総務課
要請訪問や研修会における、教科等の目標やねらいとキャリア教育で育てたい力の重なりを意識したキャリア教育実践への支援	A	指導課
要請訪問や研修会における、キャリア・パスポートの効果的な活用の啓発	A	指導課
新規キャリア教育推進教師研修の実施（年1回）	A	教育センター
2年目経験研修でのキャリア教育に関する講座実施（年1回）	A	教育センター
小中学校からの要請による、キャリア教育に関する校内研修支援の実施	-	教育センター
幼児教育の指針『幼児期に育てたい力(教職員用指導資料)』の配付及び活用事例の紹介による啓発	A	幼児教育・保育課
小中高校生を対象とした「次世代起業家育成講座」の実施（37回）	B	産業振興課
農業振興ビジョンに基づく職業としての農業の魅力を伝える多彩な出前講座の実施（5校・オンライン開催含む）	B	農業水産課

《学 校の取組》

(1) キャリア教育を核とした人づくりの推進のためにどのような取組をしましたか(複数回答)

(単位：％、比較：Pt)

取組内容	全体					小学校			中学校		
	R2	R3	R4	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比
「本市がキャリア教育を核とした人づくりを推進する意義」を、全職員で共通理解した	81.3	87.5	88.2	80.6	△0.7	83.8	80.2	△3.6	77.1	81.3	4.2
自校のキャリア教育で育てたい力を、職員間で共通理解する場を設けた	86.1	98.6	97.2	95.8	9.7	86.5	96.9	10.4	85.4	93.8	8.4
キャリア教育を意図的・計画的に実践するために、年間指導計画を作成（見直し）した	78.5	95.8	92.4	89.6	11.1	85.4	91.7	6.3	64.6	85.4	20.8
キャリア教育で育てたい力を家庭や地域と共有するために、情報発信した	36.1	49.3	59.7	59.7	23.6	40.6	64.6	24.0	27.1	50.0	22.9
キャリア教育年間指導計画に位置付けられている教科学習や教科外活動の中で、子供にキャリア教育で育てたい力を育む指導を行った	72.2	82.6	90.3	88.2	16.0	74.0	91.7	17.7	68.8	81.3	12.5
子供が、新たな学習や生活の意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりすることができるよう、キャリア・パスポートを活用した	77.8	84.0	93.1	94.4	16.6	82.3	96.9	14.6	68.8	89.6	20.8
家庭や地域と連携・協働しながら、キャリア教育を推進した	33.3	40.3	51.4	56.9	23.6	35.4	63.5	28.1	29.2	43.8	14.6
その他	6.9	4.2	4.2	2.8	△4.1	6.3	4.2	△2.1	8.3	0.0	△8.3

《教職員への調査》

1 自校のキャリア教育で育てたい力を踏まえて実践していますか (単位: %、比較: Pt 以下同じ)

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R2
全体	90.4	89.6	91.9	91.4	1.0
小学校	92.1	91.3	93.0	92.2	0.1
中学校	87.5	86.7	90.0	90.0	2.5

2 今年度、発達支援学級や複式学級、学年(団)の教員と協働して、キャリア教育年間指導計画を作成(見直し)していますか

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R2
全体	76.5	81.7	80.9	78.5	2.0
小学校	80.8	87.6	85.6	84.2	3.4
中学校	68.9	71.6	72.7	68.9	0

3 自校のキャリア教育で育てたい力を子供と共有し、実践していますか

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R2
全体	84.0	84.1	86.2	87.3	3.3
小学校	85.8	87.4	89.4	89.9	4.1
中学校	81.1	78.5	80.4	82.9	1.8

4 キャリア教育年間指導計画に位置付けられている教科学習や教科外活動の中で、子供にキャリア教育で育てたい力を育む指導を行っていますか

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R2
全体	89.1	88.2	89.7	89.6	0.5
小学校	91.0	90.0	91.2	91.2	0.2
中学校	85.5	85.0	87.0	87.0	1.5

5 自校のキャリア教育で育てたい力を子供が自覚することができる手立てを工夫していますか

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R2
全体	80.2	78.7	83.4	82.8	2.6
小学校	81.3	80.7	85.4	84.6	3.3
中学校	78.2	75.1	80.0	79.9	1.7

6 子供が、子供同士や大人(教員・保護者等)と対話的に関わり、成長を促すことができるよう、キャリア・パスポートを活用していますか

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R2
全体	68.9	73.4	76.2	77.8	8.9
小学校	72.3	78.6	80.3	81.6	9.3
中学校	62.9	64.6	69.0	71.3	8.4

7 子供一人一人がよさを発揮できるよう、場を工夫して設定していますか

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R2
全体	96.2	96.0	96.4	95.9	△0.3
小学校	96.8	96.6	97.1	96.5	△0.3
中学校	95.0	95.0	95.2	95.0	0.0

《児童生徒への調査》

1 キャリア教育で育てたい力を知っていますか

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	46.9		63.1		65.3		18.4
	小学校	4年	52.5	5年	76.1	6年	75.3	22.8
	中学校	1年	41.4	2年	49.7	3年	55.0	13.6
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	61.1		57.1		-		△4.0
	小学校	4年	70.5	5年	66.0	-		△4.5
	中学校	1年	50.2	2年	46.5	-		△3.7
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	14.2		△6.0		-		
	小学校	18.0		△10.1		-		
	中学校	8.8		△3.2		-		

2 キャリア教育で学んだことは、日常生活や将来につながると感じますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	85.3		89.5		87.8		2.5
	小学校	4年	87.3	5年	92.2	6年	90.5	3.2
	中学校	1年	83.4	2年	86.7	3年	85.0	1.6
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	90.2		87.4		-		△2.8
	小学校	4年	92.1	5年	90.1	-		△2.0
	中学校	1年	88.0	2年	84.1	-		△3.9
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	4.9		△2.1		-		
	小学校	4.8		△2.1		-		
	中学校	4.6		△2.6		-		

3 キャリア・パスポートを活用したことで、新たな学習や生活の意欲につながったり、将来の生き方を考えたりすることができたと思いますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	75.6		79.7		77.7		2.5
	小学校	4年	78.1	5年	83.0	6年	81.0	2.9
	中学校	1年	73.2	2年	76.4	3年	74.4	1.2
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	81.1		77.8		-		△3.3
	小学校	4年	83.6	5年	81.0	-		△2.6
	中学校	1年	78.1	2年	73.9	-		△4.2
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	5.5		△1.9		-		
	小学校	5.5		△2.0		-		
	中学校	4.9		△2.5		-		

4 どんな大人になりたいのかという目標を持っていますか(将来の夢を持っていますか)

成果指標 R6 年度 90%

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	85.2		80.1		77.8		△7.4
	小学校	4年	91.8	5年	90.0	6年	87.7	△4.1
	中学校	1年	78.6	2年	69.9	3年	67.5	△11.1
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	81.2		78.6		-		△2.6
	小学校	4年	89.3	5年	87.7	-		△1.5
	中学校	1年	71.7	2年	67.7	-		△4.0
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△4.0		△1.5		-		
	小学校	△2.5		△2.3		-		
	中学校	△6.9		△2.2		-		

<参考>全国学力・学習状況調査			R1	R3	R4	R5
将来の夢や目標を持っていますか	全国	小6	83.8	76.9	79.8	81.5
		中3	70.5	68.6	67.3	66.3
	本市	小6	86.9	83.4	84.0	85.1
		中3	74.5	72.0	69.8	68.5

※R2は中止

5 自分にはよいところがあると思いますか

成果指標 R6 年度 85%

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	80.8		76.1		77.9		△2.9
	小学校	4年	83.7	5年	77.8	6年	77.8	△5.9
	中学校	1年	77.9	2年	74.4	3年	78.0	0.1
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	77.4		76.6		-		△0.8
	小学校	4年	80.1	5年	77.9	-		△2.2
	中学校	1年	74.3	2年	75.1	-		0.8
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△3.4		0.5		-		
	小学校	△3.6		0.1		-		
	中学校	△3.6		0.7		-		

<参考>全国学力・学習状況調査			R1	R3	R4	R5
自分には、よいところがあると思いますか	全国	小6	81.2	76.9	79.3	83.5
		中3	74.1	76.2	78.5	80.0
	本市	小6	86.5	82.5	84.3	87.9
		中3	81.6	82.0	82.9	82.4

※R2は中止

6 自分のよいところを生きしながら活動していますか

成果指標 ▶ R6 年度 80%

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	77.0		74.1		74.7		△2.3
	小学校	4年	81.2	5年	77.2	6年	75.6	△5.6
	中学校	1年	72.9	2年	70.9	3年	73.7	0.8
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	77.2		74.4		-		△2.8
	小学校	4年	81.6	5年	77.9	-		△3.7
	中学校	1年	72.1	2年	70.2	-		△1.9
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	0.2		0.3		-		
	小学校	0.4		0.7		-		
	中学校	△0.8		△0.7		-		

《保護者への調査》

1 学校では、キャリア教育で子供にどのような力を育てようとしているか知っていますか

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	27.2		33.2		38.5		11.3
	小学校	4年	30.8	5年	36.5	6年	43.6	12.8
	中学校	1年	23.9	2年	29.6	3年	33.8	9.9
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	31.5		32.7		-		1.2
	小学校	4年	33.5	5年	34.6	-		1.1
	中学校	1年	29.2	2年	30.7	-		1.5
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	4.3		△0.5		-		
	小学校	2.7		△1.9		-		
	中学校	5.3		1.1		-		

2 キャリア・パスポートを通して、お子さんが何をがんばったか、またはがんばりたいと思っているか知っていますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	22.9		29.8		35.7		12.8
	小学校	4年	26.9	5年	35.7	6年	44.6	17.7
	中学校	1年	19.1	2年	23.6	3年	27.5	8.4
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	32.8		35.6		-		2.8
	小学校	4年	34.6	5年	38.6	-		4.0
	中学校	1年	30.6	2年	32.3	-		1.7
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	9.9		5.8		-		
	小学校	7.7		2.9		-		
	中学校	11.5		8.7		-		

《地 域への調査》

1 学校では、キャリア教育で子供にどのような力を育てようとしているか知っていますか

(単位: %、比較: Pt)

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	77.7	85.4	88.1	90.9	13.2
小学校	76.3	85.0	90.4	90.9	14.6
中学校	80.3	86.3	83.2	90.9	10.6

成 果

○目指す子供の姿の実現に向けた、家庭や地域と連携・協働の推進

- ・ 学校の取組では、令和2年度からほとんどの項目で数値の上昇が見られ、全市的にキャリア教育の実践が進んでいる状況が確認できました。また、家庭や地域と連携・協働したキャリア教育の取組については、昨年度の評価・検証を踏まえて各学校が積極的に取り組んだことから、昨年度より数値の上昇が見られました。特に中学校は約11Pt上昇し、家庭や地域と連携・協働したキャリア教育が推進されている状況が確認できました。
- ・ 教職員への調査では、7つの項目のうち5つの項目において8割以上の教職員から肯定的な回答が得られ、2つの項目についても約8割の肯定的な回答を得ました。全国学力・学習状況調査(調査対象:小6、中3)では、「将来の夢や目標を持っていますか」「自分にはよいところがあると思いますか」の項目において、本市の子供は、全国平均と比べて小学校は約5Pt、中学校は約2Pt数値を上回っており、全市的なキャリア教育の推進の成果であると考えられます。
- ・ 保護者への調査では、2つの項目ともに数値が上昇しており、学校だよりやホームページを活用した情報発信、キャリア・パスポートの活用促進により、保護者のキャリア教育に対する理解が徐々に進んでいる状況が確認できました。
- ・ 地域住民への調査では、「学校では、キャリア教育で子供にどのような力を育てようとしているか知っていますか」の項目において、数値にわずかな上昇が見られ、小中ともに9割を超えました。全市的なCS導入が進んだことで、各校が学校運営協議会で情報を共有し、学校運営を進めていることが推測できます。

○キャリア・パスポートの活用

- ・ 小中ともに約9割の学校がキャリア・パスポート活用に取り組んでいる状況が確認でき、教職員についても、約8割から活用について肯定的な回答が得られ、キャリア・パスポートの活用が進んでいる状況が確認できました。
- ・ 保護者への調査では、昨年度と比較して、小学校は約4Pt、中学校は約2Pt数値が上昇しており、学年の進行とともにキャリア・パスポートを保護者と共有して活用している状況が確認できました。



課題

○学校のキャリア教育推進体制

- ・ 学校の取組のうち、全職員での共通理解や年間指導計画の作成(見直し)の項目は、昨年度と比較して数値が大きく下がっているものが見られます。キャリア教育が浸透してきたためという見方もできますが、毎年度、子供の実態を捉え直し、形骸化することなく取り組んでいくことが重要です。

○キャリア教育で育てたい力を子供が自覚することができる手立ての工夫

- ・ 教職員への調査、キャリア教育で育てたい力を子供と共有した実践(質問3)と、キャリア教育で育てたい力を子供が自覚することができる手立ての工夫(質問5)の項目の肯定的回答はともに約8割と高い値を示しています。一方で、児童生徒への調査、キャリア教育で育てたい力の認識(質問1)の肯定的回答は、小学校約7割、中学校約5割となっており、教職員の取組と生徒の表れに乖離が見られました。
- ・ 児童生徒への調査では、キャリア教育に関するすべての項目において、昨年度より多少数値の低下が見られました。今後も子供の実態や発達段階に応じてキャリア教育で育てたい力を子供が自覚することができる手立てを工夫していくことが大切になると考えられます。

○家庭や地域との連携・協働、キャリア・パスポートの共有

- ・ 学校の取組における、家庭や地域との連携・協働の項目は、肯定的回答が年々上昇傾向にあり、連携・協働しながらキャリア教育が進められている状況が確認できました。しかしながら、保護者の調査では、キャリア教育で育てたい力の認識に関する項目では、数値は上昇したものの、依然として約3割と低い状況となっていることから、継続して情報発信や周知に取り組んでいくことが大切です。
- ・ キャリア・パスポートについても、学校の活用は進んでいることが確認できましたが、保護者の認識は依然として約3～4割であるため、キャリア・パスポートの保護者との共有に取り組んでいくことが必要です。

○成果指標の経過観察

- ・ 成果指標のうち、将来の夢や自分のよいところに関する項目は、グループ1の傾向同様に小中学校ともに若干の低下が見られました。全国学力・学習状況調査では、本市は全国より小学校は約4Pt、中学校は約2Pt上回っている状況となっており、発達段階の影響を受けているとも考えられます。
- ・ 今後も、調査の動向を見守っていくとともに、学校、家庭、地域が一体となって子供に関わり、温かい声掛けや大人がロールモデルとなることなどが大切であると考えます。

政策 2

夢と希望を持ち続ける子供を育てます

施策 2-1 郷土愛や「やらまいか精神」の醸成

成果指標

※R5年度数値…G2全体の数値

自分が住んでいるまち(地域)が好きな子供の割合	R6 年度 95%	R5 年度 ➡ 93.3%
住んでいる地域の行事に参加している子供の割合	R6 年度 80%	R5 年度 ➡ 63.0%
難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している子供の割合	R6 年度 80%	R5 年度 ➡ 70.7%

■2-1-1 特色ある園・学校づくりの推進

《関係課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取組 内容	評価	担当
市立小中学校の特色ある学校づくりに向けた取組への支援	A	指導課
市立幼稚園の特色ある園づくりに向けた取組への支援	A	幼児教育・保育課

■2-1-2 郷土を愛する子供の育成

《関係課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取組 内容	評価	担当
全市立小学校5年生への浜松市への理解や関心を高める講座の実施	A	教育総務課
中学生の代表者による「中学生未来議会」の開催	A	広聴広報課
都市部の小学校等と中山間地域住民との交流を含めた体験活動の実施(6校)	A	市民協働・地域政策課
市内外の企業、団体等による、業務内容や働く意義などに関する講話及び浜松にゆかりのある芸術家による講話の実施	A	市立高等学校
市民団体の無形民俗文化財継承活動に係る学校との連絡調整等の支援、新規活動希望校への情報提供	A	文化財課
学校への無形民俗文化財継承活動に係る情報提供、市民団体との連絡調整等の支援、活動状況の調査	A	文化財課
新型コロナウイルス感染拡大防止など、社会情勢の変化に対応した活動についての助言・支援	A	文化財課

《学 校の取組》

(2)「郷土愛や『やらまいか精神』の醸成」を図るために、どのような取組をしていますか(複数回答)

(単位: %、比較: Pt)

取組内容	全体					小学校			中学校		
	R2	R3	R4	R5	R5-R3 比	R3	R5	R5-R3 比	R3	R5	R5-R3 比
地域住民と連携した体験活動 (例 農業体験等)	-	65.3	75.0	76.4	11.1	67.7	80.2	12.5	60.4	68.8	8.4
地元企業や大学等と連携した体験活動 (例 ものづくり、プログラミング教育等)	-	41.7	41.0	47.9	6.2	42.7	53.1	10.4	39.6	37.5	△2.1
地域の伝統芸能・伝統行事の体験や継承活動 (例 神楽、おくない、田楽等)	-	19.4	22.2	29.9	10.5	18.8	31.3	12.5	20.8	27.1	6.3
浜松市への理解や関心を高める講座の実施 (例 人づくりネットワークセンターの講座等)	-	51.4	51.4	53.5	2.1	55.2	64.6	9.4	43.8	31.3	△12.5
地域に貢献する活動 (例 奉仕作業、クリーン作戦等)	-	36.1	34.7	41.7	5.6	21.9	29.2	7.3	64.6	66.7	2.1
その他	-	6.3	5.6	4.9	△1.4	7.3	7.3	0.0	4.2	0.0	△4.2

《教職員への調査》

8 子供が地域の魅力を発見する、または、地域の将来を考える機会を設けている

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	79.3	76.3	81.4	82.0	2.7
小学校	81.4	77.9	82.7	83.3	1.9
中学校	75.7	73.5	79.1	79.8	4.1

9 子供が難しいことでも失敗を恐れず挑戦することができるよう支援している

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	96.5	96.9	97.2	97.0	0.5
小学校	97.5	98.0	97.9	97.4	△0.1
中学校	94.7	95.0	96.0	96.2	1.5

《児童生徒への調査》

7 自分が住んでいるまち(地域)は好きですか

成果指標 R6 年度 **95%**

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	92.7		92.6		92.8		0.1
	小学校	4年	93.9	5年	93.6	6年	93.9	0.0
	中学校	1年	91.5	2年	91.5	3年	91.6	0.1
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	94.0		93.3		-		△0.7
	小学校	4年	94.7	5年	94.3	-		△0.4
	中学校	1年	93.2	2年	92.0	-		△1.2
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	1.3		0.7		-		
	小学校	0.8		0.7		-		
	中学校	1.7		0.5		-		

8 住んでいる地域の行事に参加していますか

成果指標 R6 年度 **80%**

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	77.7		66.9		59.9		△17.8
	小学校	4年	81.2	5年	70.9	6年	64.2	△17.0
	中学校	1年	74.1	2年	62.8	3年	55.5	△18.6
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	62.4		63.0		-		0.6
	小学校	4年	65.5	5年	68.0	-		2.5
	中学校	1年	58.9	2年	56.9	-		△2.0
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△15.3		△3.9		-		
	小学校	△15.7		△2.9		-		
	中学校	△15.2		△5.9		-		

9 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか

成果指標 R6 年度 80%

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	73.0		70.0		69.1		△3.9
	小学校	4年	76.1	5年	72.4	6年	70.0	△6.1
	中学校	1年	70.0	2年	67.7	3年	68.2	△1.8
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	73.0		70.7		-		△2.3
	小学校	4年	77.5	5年	75.4	-		△2.1
	中学校	1年	67.8	2年	65.0	-		△2.8
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	0.0		0.7		-		
	小学校	1.4		3.1		-		
	中学校	△2.2		△2.7		-		

《保護者への調査》

3 住んでいる地域の行事に参加するよう、お子さんを促していますか (単位: %、比較: Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	71.7		67.1		66.7		△5.0
	小学校	4年	72.7	5年	68.9	6年	69.2	△3.5
	中学校	1年	70.8	2年	65.2	3年	64.4	△6.4
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	63.0		62.9		-		△0.1
	小学校	4年	64.4	5年	65.9	-		1.5
	中学校	1年	61.3	2年	59.6	-		△1.7
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△8.7		△4.2		-		
	小学校	△8.3		△3.0		-		
	中学校	△9.5		△5.6		-		

4 難しいことでも失敗を恐れず挑戦することができるようお子さんを認め励ましていますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	94.8		94.5		94.2		△0.6
	小学校	4年	95.6	5年	95.2	6年	95.0	△0.6
	中学校	1年	94.0	2年	93.8	3年	93.6	△0.4
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	94.5		93.6		-		△0.9
	小学校	4年	94.7	5年	94.4	-		△0.3
	中学校	1年	94.1	2年	92.7	-		△1.4
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△0.3		△0.9		-		
	小学校	△0.9		△0.8		-		
	中学校	0.1		△1.1		-		



成 果

○地域住民・地元企業と連携した体験活動の実施

- ・ 学校の取組において、地元企業や大学等と連携した体験活動では、昨年度と比較して小学校で約9Ptの上昇をはじめ、地域の伝統芸能・伝統行事の体験や継承活動では、小中ともに約7～8Ptの上昇、地域に貢献する活動では、中学校において約13Ptの上昇が見られました。令和3年度との比較においても、多くの項目で上昇が見られ、新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、積極的に地域住民や地元企業と連携した体験活動などが実施された状況が確認できました。

○児童生徒の郷土愛

- ・ 地域行事への参加に関する児童生徒への設問では、小学校は約3Ptの上昇、中学校は2Ptの低下が見られました。また、教職員への調査では、地域の魅力を発見する機会や、地域の将来を考える機会を設ける機会の設定に関する数値に昨年度よりわずかな上昇が見られ、令和2年度との比較では約2～4Pt上昇しました。
- ・ 今年度の調査においても、児童生徒の9割以上から「自分が住んでいるまち(地域)は好きである」と回答が得られました。地域行事への参加は、令和2年度から減少傾向でしたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえた地域行事の増加や、学校での教育活動における地域との関わりなどによって、地域に愛着をもった児童生徒が育まれている状況が確認できました。



課 題

○「やらまいか精神」の醸成

- ・ 教職員、保護者ともに、「難しいことでも失敗を恐れず挑戦できるよう認め励ましている(支援している)」の設問に対する肯定的回答は継続して9割を超え、高い数値が保たれていますが、「挑戦している」と回答した児童生徒の数値はG1の傾向と同様に減少傾向が見られます。
- ・ 子供の発達段階による影響や子供の経験の蓄積による失敗することへの恐怖感との推測もできますが、今後も、保護者と教員が連携しながら、児童生徒が主体的に目標を設定し、達成に向けて失敗を恐れず挑戦できるよう支援していくことが大切です。

政策 3

これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供を育てます

施策 3-1 確かな学力の育成

成果指標

※R5年度数値…G2全体の数値

自分が決めたことは最後までやり遂げるようにしている子供の割合

R6 年度 90% R5 年度 → 84.1% 

自分で計画を立てて勉強している子供の割合

R6 年度 75% R5 年度 → 56.4%

■3-1-1 これからの社会に必要な学力の育成

《関係 課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
計画訪問における、授業改善のための指導	A	指導課
計画訪問や研修会における、「浜松市学力調査」「全国学力・学習状況調査」の結果分析に基づいた指導	A	指導課
計画訪問や研修会における、『家庭学習の手引き 参考資料』を活用した家庭学習の啓発	A	指導課
確かな学力を育成するための指導指針『教職員版「はままつ教育」』の発行	A	指導課
子供の学力向上や喫緊の課題を解決するための指定教育研究校の指定	A	指導課
各教科等授業改善に関する研修の実施（図工・美術、特別活動 各1回）	A	教育センター
校内研修の充実を図るための研修主任研修の実施（年1回）	A	教育センター
最新の教育事情を理解する研修（希望）の実施	A	教育センター
小学校を対象とした移動博物館の実施（9校）※2月末時点	S	博物館
小中学校の教材利用件数（87件）	S	博物館
「学習支援パック」に関する資料貸出（年間9,000冊）※2月末時点	B	中央図書館
「授業支援カード」による貸出資料の質の向上	A	中央図書館

《学 校の取組》

(3) 確かな学力を育成するために、どのような取組をしましたか（複数回答） (単位: %、比較: Pt)

取組内容	全体					小学校			中学校		
	R2	R3	R4	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、指導力向上のための授業研究の実施	93.8	98.6	97.2	97.2	3.4	93.8	97.9	4.1	93.8	95.8	2.0
子供や保護者に対する、家庭学習の啓発	62.5	72.2	73.6	70.1	7.6	72.9	80.2	7.3	41.7	50.0	8.3
各種調査結果の分析	31.3	75.0	79.2	78.5	47.2	26.0	78.1	52.1	41.7	79.2	37.5
貸出教材等の活用	20.8	29.9	31.3	31.3	10.5	26.0	43.8	17.8	10.4	6.3	△4.1
外部人材の活用	60.4	60.4	64.6	72.2	11.8	70.8	82.3	11.5	39.6	52.1	12.5
「はままつ教育」の活用（校内研修での活用）	28.5	57.6	60.4	62.5	34.0	24.0	64.6	40.6	37.5	58.3	20.8
その他	9.0	2.8	0.7	1.4	△7.6	9.4	1.0	△8.4	8.3	2.1	△6.2

《教職員への調査》

10 自分で決めた時間に(自分で計画を立てて)勉強するよう子供に指導している

(単位:%、比較:Pt 以下同じ)

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	85.4	83.0	81.9	81.9	△3.5
小学校	83.5	80.7	79.9	79.8	△3.7
中学校	89.0	86.7	85.2	85.4	△3.6

11 教科の学習や特別活動において、子供が決めたことを最後までやり遂げられるよう支援している

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	97.7	97.4	97.6	97.1	△0.6
小学校	98.3	97.8	98.2	97.5	△0.8
中学校	96.6	96.7	96.6	96.5	△0.1

12 (単元や1時間の授業において)子供にとって切実感や必要感のある学習課題を設定するようにしている

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	93.8	94.0	94.4	93.9	0.1
小学校	95.1	94.8	95.7	94.8	△0.3
中学校	91.5	92.7	92.1	92.6	1.1

13 子供が学習の見通しをもって粘り強く取り組んだり、自己の学習活動を振り返って次につなげたりできるように、学習過程を工夫している

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	95.3	95.3	95.9	95.8	0.5
小学校	95.9	95.7	96.3	96.0	0.1
中学校	94.3	94.7	95.2	95.7	1.4

14 子供同士の協働、教職員や地域の人々との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、子供が自己の考えを広げ深めることができるように、学習過程を工夫している

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	86.1	86.1	89.0	88.8	2.7
小学校	95.9	95.7	96.3	96.0	0.1
中学校	83.5	86.0	87.5	87.2	3.7

15 子供が、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせられるように、学習過程を工夫している

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	91.7	93.1	92.8	92.6	0.9
小学校	90.9	92.3	92.7	92.3	1.4
中学校	93.2	94.4	93.1	93.1	△0.1

《児童生徒への調査》

10 自分で決めた時間に勉強していますか(自分で計画を立てて勉強していますか)

成果指標 R6 年度 75%

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	63.4		59.9		58.8		△4.6
	小学校	4年	66.2	5年	66.5	6年	63.4	△2.8
	中学校	1年	60.6	2年	53.1	3年	54.0	△6.6
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	65.5		56.4		-		△9.1
	小学校	4年	68.1	5年	61.9	-		△6.2
	中学校	1年	62.5	2年	49.9	-		△12.6
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	2.1		△3.5		-		
	小学校	1.9		△4.6		-		
	中学校	1.9		△3.2		-		

11 自分で決めたことは最後までやりとげるようにしていますか

成果指標 R6 年度 90%

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	82.6		83.8		83.9		1.3
	小学校	4年	82.5	5年	83.1	6年	83.5	1.0
	中学校	1年	82.7	2年	84.4	3年	84.4	1.7
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	83.3		84.1		-		0.8
	小学校	4年	84.4	5年	85.6	-		1.2
	中学校	1年	82.1	2年	82.2	-		0.1
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	0.7		0.3		-		
	小学校	1.9		2.5		-		
	中学校	△0.6		△2.2		-		

12 授業では、課題の解決に向けてねばり強く取り組んだり、振り返ったことを次に生かしたりしていますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	77.8		75.7		78.6		0.8
	小学校	4年	80.0	5年	78.0	6年	78.7	△1.3
	中学校	1年	75.5	2年	73.4	3年	78.5	3.0
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	77.4		74.9		-		△2.5
	小学校	4年	79.8	5年	77.9	-		△1.9
	中学校	1年	74.6	2年	71.4	-		△3.2
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△0.4		△0.9		-		
	小学校	△0.2		△0.1		-		
	中学校	△0.9		△2.0		-		

13 学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることはできていますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	82.4		82.6		85.6		3.2
	小学校	4年	81.7	5年	79.9	6年	83.2	1.5
	中学校	1年	83.1	2年	85.4	3年	88.0	4.9
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	82.6		82.3		-		△0.3
	小学校	4年	81.3	5年	80.7	-		△0.6
	中学校	1年	84.2	2年	84.2	-		0
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	0.2		△0.3		-		
	小学校	△0.4		0.8		-		
	中学校	1.1		△1.2		-		

《保護者への調査》

5 お子さんが決めた時間に(自分で計画を立てて)勉強に取り組めるよう、認め励ましていますか

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	85.6		83.9		84.2		△1.4
	小学校	4年	86.1	5年	84.3	6年	82.6	△3.5
	中学校	1年	85.1	2年	83.5	3年	85.6	0.5
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	83.4		81.8		-		△1.6
	小学校	4年	83.4	5年	81.4	-		△2.0
	中学校	1年	83.3	2年	82.3	-		△1.0
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△2.2		△2.1		-		
	小学校	△2.7		△2.9		-		
	中学校	△1.8		△1.2		-		

6 お子さんが決めたことを最後までやり遂げられるよう認め励ましていますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	95.3		94.7		95.0		△0.3
	小学校	4年	95.6	5年	95.5	6年	95.8	0.2
	中学校	1年	95.0	2年	93.8	3年	94.3	△0.7
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	94.4		93.7		-		△0.7
	小学校	4年	94.6	5年	94.5	-		△0.1
	中学校	1年	94.0	2年	92.8	-		△1.2
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△0.9		△1.0		-		
	小学校	△1.0		△1.0		-		
	中学校	△1.0		△1.0		-		



成 果

○「主体的・対話的で深い学び」の着実な実践

- ・ 学校や教職員への調査において、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組に関する設問の肯定的回答が、令和2年度から高い数値で維持できています。指導力向上のための授業研究や授業改善を図りながら、「主体的・対話的で深い学び」が着実に実践されていることが伺えます。
- ・ 児童生徒への調査では、「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることはできているか」の設問において、小中学校ともに8割以上の高い数値が維持されており、日々の授業における実践の成果が見てとれます。

○決めたことを最後までやり遂げる力の定着

- ・ 「自分で決めたことは最後までやり遂げるようにしている」という設問に肯定的な回答をした児童生徒が、昨年度に引き続き8割以上となっています。教職員の支援と保護者の励ましの設問についても、9割以上の高い数値が保たれています。
- ・ 教職員と保護者による子供への継続的な支援・声掛けにより、子供たちに最後まで粘り強く取り組む姿勢と物事をやり遂げる力が身に付いてきていることが確認できました。



課 題

○ニーズに応じた教材や資料の提供

- ・ 関係課の取組では、図書館が実施している「学習支援パック(各教科の学習や調べ学習で活用できる図書資料を詰め合わせたもの)」の貸出数が昨年度より減少しました。また、学校の取組では、「貸出教材等の活用」が約3割と低い状況になっています。学校への周知方法を工夫するとともに、教科学習や調べ学習にタブレット型端末が活用されるようになり、教材や資料に求めるニーズが変化しているため、学校のニーズを踏まえた対応を検討する必要があります。

○学習習慣の確立

- ・ 学校の取組では、「家庭学習の啓発」の数値が小中ともに減少しており、中学校では大幅な減少(約15Pt)が見られます。やらされる学習(宿題)から子供の主体的な学びにつながる学習(自主学習)へと見直しを図る学校が増えていますが、子供に学ぶことの意義を伝え、自主学習を促す取組は継続して進めていく必要があります。一方で、教職員や保護者への調査における「自分が決めた時間に計画的に勉強に取り組むための励まし」に対する肯定的回答は、高い数値を保っており、意識の乖離が見られます。
- ・ 主体的・計画的に学習に取り組んでいる児童生徒の割合が、昨年度と比較して約9Pt減少しています。理由の一つとして発達段階の影響が考えられますが、令和3年度の同一学年との比較でも減少が見られます。
- ・ タブレット型端末の持ち帰りによる事前学習を行うなど、子供たちが主体的に学習に取り組みやすい環境をつくり、学習習慣の定着を促す学校の取組が必要と考えます。

施策 3-2 グローバル社会で活躍できる人材の育成

※R5年度数値…G2全体の数値

成果指標

外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う子供の割合

 R6 年度 70% R5 年度 ➡ 73.6%

日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う子供の割合

 R6 年度 75% R5 年度 ➡ 78.6%

■3-2-1 外国語教育の充実

《関係 課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施 —…年度内算定不可

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
小中高等学校への A L T 配置	A	指導課
A L T (J E T) の指導力向上のための研修の実施 (月 1 回)	A	指導課
最新の外国語教育について理解を深める研修の実施 (年 1 回)	A	教育センター
小中学校教員を対象とした外国語教育に関する希望研修の実施 (年 2 回)	A	教育センター
小中学校からの要請による外国語教育に関する校内研修支援	—	教育センター

《学 校の取組》

(4)外国語教育の充実のために、どのような取組をしましたか(複数回答)

(単位: %、比較: Pt)

取組内容	全体					小学校			中学校		
	R2	R3	R4	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比
「聞く・読む・話す・書く」の4技能をバランスよく育成するための、指導力向上を目指した校内研修の実施	42.4	36.8	36.8	45.1	2.7	34.4	34.4	0.0	58.3	66.7	8.4
A L T と連携した授業構想の工夫	93.8	100.0	97.9	98.6	4.8	93.8	97.9	4.1	93.8	100.0	6.2
外国人との交流、または、外国の文化に触れる機会の設定	11.1	16.7	17.4	25.0	13.9	10.4	28.1	17.7	12.5	18.8	6.3
その他	9.7	6.3	6.3	2.1	△7.6	11.5	3.1	△8.4	6.3	0.0	△6.3

《教職員への調査》

16 自国の文化及び異文化に対する理解を深める機会を設けている

(単位: %、比較: Pt)

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	76.4	76.3	74.7	76.3	△0.1
小学校	78.4	77.7	76.1	76.9	△1.5
中学校	72.8	74.0	72.1	75.2	2.4

《児童生徒への調査》

14 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか

成果指標 R6 年度 70%

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	74.2		73.3		74.0		△0.2
	小学校	4年	74.5	5年	74.2	6年	73.4	△1.1
G2	中学校	1年	73.8	2年	72.3	3年	74.7	0.9
	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	75.4		73.6		-		△1.8
差	小学校	4年	75.3	5年	75.8	-		0.5
	中学校	1年	75.5	2年	71.0	-		△4.5
	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
差	全体	1.2		0.3		-		
	小学校	0.8		1.6		-		
	中学校	1.7		△1.3		-		

15 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか

成果指標 R6 年度 75%

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	80.7		79.0		77.6		△3.1
	小学校	4年	82.5	5年	83.1	6年	81.0	△1.5
G2	中学校	1年	78.9	2年	74.7	3年	74.0	△4.9
	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	81.0		78.6		-		△2.4
差	小学校	4年	82.4	5年	83.5	-		1.1
	中学校	1年	79.4	2年	72.6	-		△6.8
	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
差	全体	0.3		△0.4		-		
	小学校	△0.1		0.4		-		
	中学校	0.5		△2.1		-		



成果

○外国語指導助手(ALT)との連携

- ・ 学校の取組では、「ALTと連携した授業構想の工夫」について、小中学校のほぼ全校での実施が確認できました。また、児童生徒への調査では、小学校はわずかな数値の上昇、中学校では減少が見られましたが、今年度も成果指標を達成することができました。

○校種に応じた外国語教育の充実

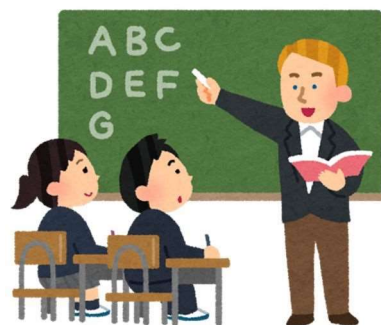
- ・ 小学校の取組では、外国人との交流、外国の文化に触れる機会の設定において、昨年度より約10Pt 上昇が見られました。新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、交流活動等へ積極的に取り組んでいることが伺えます。
- ・ 中学校の取組では、「聞く・読む・話す・書く」の4技能をバランスよく育成するための、指導力向上を目指した校内研修が昨年度より約6Pt 上昇し、外国語教育の充実に取り組んでいる状況が確認できました。



課題

○外国語教育のさらなる充実

- ・ 学校の「外国人との交流、外国の文化に触れる機会の設定」に関する設問では、肯定的回答が約2割強となっているなか、教職員への調査、「自国の文化及び異文化に対する理解を深める機会の設定」の設問に対する肯定的回答は約7割を超えており、数値の乖離が見られました。学校全体としては取り組んでいないが、教員が教科指導の中で取り組んでいるなどの状況が推測されます。
- ・ 今年度も成果指標を達成することができましたが、児童生徒への調査では、中学校において二つの設問ともに数値低下が見られました。中学校は、外国人との交流、外国の文化に触れる機会の設定の取組が小学校よりも低くなっており、学校種に応じた取組の工夫や充実が望まれます。



施策 3-3 情報社会を生きる能力の育成

成果指標

※R5年度数値…G2全体の数値

インターネットやゲームをするときの(情報をやり取りするときの)ルールやマナーを守ることができる子供の割合

R6 年度 100% R5 年度 ➡ 93.8%

自分の考えや思いを、パソコンを使った資料や新聞などにまとめ発表することができる子供の割合

 R6 年度 70% R5 年度 ➡ 75.6% 

■3-3-1 情報活用能力の育成

《関係課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
情報教育実践事例等の情報発信	A	教育施設課 (ICT 教育推進)
各種調査結果等をまとめた「学校別 I C T 連絡シート」の配信	A	教育施設課 (ICT 教育推進)
プログラミング教材の配付及び効果的な活用への支援	A	指導課
プログラミング教育等に関する教職員向け研修の実施	A	教育センター
小中学校からの要請による情報教育に関する校内研修支援	A	教育センター
タブレット型端末活用促進の研修会実施	A	市立高等学校
学校、中学校区健全育成会での情報モラル講座の実施 (要望に対する実施率 100%)	A	青少年育成センター

《学 校の取組》

(5) 情報社会を生きる能力を育成するために、どのような取組をしましたか(複数回答)

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

取組内容	全体					小学校			中学校		
	R2	R3	R4	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比
教員の I C T 活用指導力向上をねらいとした校内研修の実施	93.1	100.0	98.6	96.5	3.4	90.6	95.8	5.2	97.9	97.9	0.0
プログラミング教育の実施	30.6	56.9	53.5	47.9	17.3	38.5	54.2	15.7	14.6	35.4	20.8
情報モラル教育の実施	63.2	86.8	96.5	94.4	31.2	58.3	95.8	37.5	72.9	91.7	18.8
その他	4.9	2.8	3.5	1.4	△3.5	5.2	2.1	△3.1	4.2	0.0	△4.2

(6) 情報モラルへの意識を向上させるために、どのような取組をしましたか(複数回答)

取組内容	全体					小学校			中学校		
	R2	R3	R4	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比
教職員を対象とした校内研修の実施	56.9	73.6	82.6	69.4	12.5	54.2	69.8	15.6	62.5	68.8	6.3
児童生徒を対象とした講座等の実施	62.5	75.0	79.9	83.3	20.8	59.4	80.2	20.8	68.8	89.6	20.8
保護者を対象とした講座等の実施、 または、たより等による啓発	46.5	46.5	45.8	47.9	1.4	44.8	50.0	5.2	50.0	43.8	△6.2
その他	6.9	2.8	1.4	3.5	△3.4	7.3	4.2	△3.1	6.3	2.1	△4.2

《教職員への調査》

17 「浜松市情報活用能力育成目標」に基づいて子供への指導を行っている

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R3
全体	－	70.3	70.4	71.2	0.9
小学校	－	74.8	75.3	76.0	1.2
中学校	－	62.5	62.0	63.2	0.7

18 教科指導において、単元の中で計画的に子供がタブレット型端末を活用する授業を実施している

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R3
全体	－	69.7	80.2	84.0	14.3
小学校	－	80.0	87.1	89.4	9.4
中学校	－	52.2	68.3	74.7	22.5

19 調べたことをまとめるときは、収集した情報の中から目的に合ったものを選んで使うよう子供に指導している

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R2
全体	89.4	84.6	87.2	87.9	△1.5
小学校	89.9	85.4	87.0	87.1	△2.8
中学校	88.4	83.4	87.6	89.3	0.9

20 インターネットやゲームをするときの(情報をやり取りするときの)ルールやマナーについて日常的に子供に指導している

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R2
全体	86.2	85.8	86.1	86.3	0.1
小学校	86.3	88.6	88.5	88.8	2.5
中学校	86.0	80.9	82.0	82.2	△3.8

21 情報モラルについて、子供にわかりやすく指導している

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R2
全体	89.0	90.1	90.7	90.7	1.7
小学校	88.7	91.3	91.9	91.3	2.6
中学校	89.6	88.2	88.5	89.8	0.2

22 授業において、ICT支援員を活用している

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R3
全体	－	60.0	59.0	56.9	△3.1
小学校	－	70.2	65.8	62.9	△7.3
中学校	－	42.6	47.1	46.7	4.1

23 ICT支援員による支援は、子供の学びの充実につながっている

対象	R2	R3	R4	R5	R5－R3
全体	－	85.8	87.4	87.2	1.4
小学校	－	91.7	91.5	91.8	0.1
中学校	－	75.9	80.3	79.4	3.5

《児童生徒への調査》

16 タブレット型端末(タブレット)を使う授業はわかりやすいと思いますか

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	91.1		90.4		88.0		△3.1
	小学校	4年	89.4	5年	90.9	6年	89.8	0.4
	中学校	1年	92.8	2年	89.8	3年	86.1	△6.7
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	88.0		87.7		-		△0.3
	小学校	4年	91.2	5年	91.1	-		△0.1
	中学校	1年	84.4	2年	83.7	-		△0.7
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△3.1		△2.7		-		
	小学校	1.8		0.2		-		
	中学校	△8.4		△6.1		-		

17 自分の考えや思いをパソコンを使った資料や新聞などにまとめ発表することができますか

成果指標 R6 年度 70%

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	68.9		75.3		81.0		12.1
	小学校	4年	66.1	5年	73.7	6年	81.6	15.5
	中学校	1年	71.8	2年	76.8	3年	80.4	8.6
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	73.3		75.6		-		2.3
	小学校	4年	70.0	5年	74.5	-		4.5
	中学校	1年	77.1	2年	76.9	-		△0.2
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	4.4		0.3		-		
	小学校	3.9		0.8		-		
	中学校	5.3		0.1		-		

18 インターネットやゲームをするときのルールやマナーを守ることができますか

成果指標 R6 年度 100%

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	92.7		94.5		94.5		1.8
	小学校	4年	89.2	5年	91.0	6年	91.0	1.8
	中学校	1年	96.2	2年	98.0	3年	98.0	1.8
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	93.9		93.8		-		△0.1
	小学校	4年	91.0	5年	91.1	-		0.1
	中学校	1年	97.1	2年	97.2	-		0.1
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	1.2		△0.7		-		
	小学校	1.8		△0.1		-		
	中学校	0.9		△0.8		-		

19 情報を活用した場面(情報を集める・まとめる・発表する)を振り返り、次にやってみたいこと(よりよい活用方法)を考えることができましたか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	-		79.6		81.9		2.3
	小学校	4年	-	5年	74.7	6年	77.2	2.5
	中学校	1年	-	2年	84.6	3年	86.7	2.1
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	77.5		79.2		-		1.7
	小学校	4年	75.2	5年	75.7	-		0.5
	中学校	1年	80.1	2年	83.7	-		3.6
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	-		△0.4		-		
	小学校	-		1.0		-		
	中学校	-		△0.9		-		

《保護者への調査》

7 インターネットやゲームをする(情報をやり取りする)ときの、家庭内での使い方のルールをお子さんと決めていきますか (単位:%、比較:Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	87.0		85.6		83.7		△3.3
	小学校	4年	92.0	5年	90.3	6年	87.7	△4.3
	中学校	1年	82.2	2年	80.6	3年	80.0	△2.2
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	86.0		84.2		-		△1.8
	小学校	4年	89.6	5年	89.5	-		△0.1
	中学校	1年	81.7	2年	78.4	-		△3.3
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△1.0		△1.4		-		
	小学校	△2.4		△0.8		-		
	中学校	△0.5		△2.2		-		

8 情報モラルについて、お子さんと話をすることがありますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	81.9		82.7		83.8		1.9
	小学校	4年	79.0	5年	81.9	6年	84.4	5.4
	中学校	1年	84.7	2年	83.5	3年	83.2	△1.5
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	80.3		81.4		-		1.1
	小学校	4年	77.3	5年	80.0	-		2.7
	中学校	1年	83.9	2年	83.0	-		△0.9
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△1.6		△1.3		-		
	小学校	△1.7		△1.9		-		
	中学校	△0.8		△0.5		-		



成 果

○情報モラル教育の浸透

- ・ 学校の取組では、昨年度からは若干数値の減少は見られますが、情報モラル教育を実施している学校は継続して9割以上となっており、多くの学校で情報モラル教育を実施していることが確認できました。また、意識向上を目的とした、児童生徒や保護者対象の講座等の実施についても毎年数値が上昇しており、家庭と連携したモラル教育が実施されている状況が確認できました。
- ・ 教職員の情報モラルに関する日常的な指導や、分かりやすい指導に関する項目の肯定的回答は8割を超え、ルールやマナーを守ることができる児童生徒は、9割を超える高い数値が維持できていることから、教職員の日常的な分かりやすい指導の成果の表れであると考えられます。
- ・ 保護者への調査では、インターネットやゲームをするときのルール、情報モラルに係る子供との会話に関する項目について、肯定的な回答した保護者は継続して高い数値となっており、学校での啓発などにより保護者の意識も高く維持されています。

○児童生徒のICT活用能力

- ・ 学校の取組では、ICT活用指導力をねらいとした校内研修をほぼ全ての学校が実施していることが確認できました。児童生徒は、8割以上がタブレット型端末を使った授業は分かりやすいと感じており、小学校では、パソコンを使った資料や新聞などにまとめて発表することができる子供の数値に上昇が見られました。



課 題

○情報社会を生きる能力を育成するための取組

- ・ 教員のICT活用指導力向上をねらいとした校内研修の実施がR3と比較して減少傾向にあり、これまでのタブレット型端末「導入期の研修」から「活用期の研修」へと、研修内容を見直していく必要があります。

○タブレット型端末を活用した授業の実施

- ・ 8割以上の教職員が、計画的に子供がタブレット型端末を活用する授業を実施しており、タブレット型端末を使う授業は分かりやすいと回答した児童生徒も高い数値を示しています。しかし、令和の日本型学校教育で示されている「わかりやすく」「自分の考えや思いをまとめて伝える」授業をより一層実現するためには、タブレット型端末が不可欠なものであるという認識を高めていく必要があります。

「はままつ人づくり未来プラン 教育の情報化編」目標達成状況

1 情報活用能力の育成

- ・自分の考えや思いをパソコンを使った資料や新聞にまとめ発表することができる子供の割合

推進目標 R6 年度 70%

校種・年度	R 2	R 3	R 4	R 5	前年度比
小学校	66.1%	73.7%	81.6%	74.5%	7.9Pt
中学校	71.8%	76.8%	80.4%	76.9%	3.6Pt
全体	68.9%	75.3%	81.0%	75.6%	5.7Pt

- ・インターネットやゲームをするときのルールやマナーを守ることができる子供の割合

推進目標 R6 年度 100%

校種・年度	R 2	R 3	R 4	R 5	前年度比
小学校	89.2%	91.0%	91.0%	91.1%	0. Pt
中学校	96.2%	98.0%	98.0%	97.2%	△0.8Pt
全体	92.7%	94.5%	94.5%	93.8%	△0.7Pt

- ・「浜海市情報活用能力育成目標」に基づいて子供への指導を行っている教員の割合

推進目標 R6 年度 100%

校種・年度	R 3	R 4	R 5	前年度比
小学校	74.8%	75.3%	76.0%	0.7Pt
中学校	62.5%	62.0%	63.2%	1.2Pt
全体	70.3%	70.4%	71.2%	0.8Pt

- ・授業においてＩＣＴ支援員を活用している教員の割合

推進目標 R6 年度 100%

校種・年度	R 3	R 4	R 5	前年度比
小学校	70.2%	65.8%	62.9%	△2.4Pt
中学校	42.6%	47.1%	46.7%	△4.5Pt
全体	60.0%	59.0%	56.9%	△2.1Pt

2 教員に求められるＩＣＴ活用指導力の向上

- ・教科指導において単元の中で計画的にＩＣＴを活用している教員の割合

推進目標 R6 年度 100%

校種・年度	R 3	R 4	R 5	前年度比
小学校	80.0%	87.1%	89.4%	2.3Pt
中学校	52.2%	68.3%	74.7%	6.4Pt
全体	69.7%	80.2%	84.0%	3.8Pt

- ・「授業にＩＣＴを活用して指導する能力※」の調査項目に肯定的な回答をした教員の割合

推進目標 R6 年度 80%

校種・年度	R 2	R 3	前年度比
小学校	68.3%	74.0%	5.7Pt
中学校	60.6%	60.9%	0.3Pt
全体	65.4%	69.1%	3.7Pt

※文科省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

3 学校のICT環境整備

- ・児童生徒へのタブレット型端末1人1台整備

推進目標 R4年度 100%

R3年度に達成

- ・インターネットアクセス回線(1 Gbps 程度)の整備

推進目標 R2年度 100%

R2年度に達成



4 教育情報セキュリティの確保

- ・情報漏洩等の教育情報セキュリティ事故

推進目標 各年度 0件

R5年度 0件



施策 3-4 持続可能な社会実現のための教育

成果指標

※R5年度数値…G2全体の数値

地域や社会をよりよくすることを考えることがある子供の割合

R6 年度 70% R5 年度 → 66.2%

■3-4-1 持続可能な社会の担い手づくりの推進

《関係課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施 —…年度内算定不可

R5 年度 取組 内容	評価	担当
計画訪問や研修会等における、持続可能な社会づくりの視点を取り入れた「総合的な学習の時間」の実施支援	A	指導課
高校生の視点から浜松のSDGsに関する政策に係る協議・政策提言の実施	A	市立高等学校
環境学習プログラム「Eスイッチプログラム」を受講した子供の数 (年 8,726 人) ※2月末時点	-	環境政策課
小学校での消費者教育出前講座（SDGsとエシカル消費）の実施	A	くらしのセンター
UD 学習を支援した学校割合（目標：年 58%）	-	UD・男女共同参画課
小学校4年生及び中学校1年生を対象としたUDに対する理解を深める啓発冊子の配付・配信（3月予定）	A	UD・男女共同参画課
学校等への「こらぼ講座」（男女共同参画に関する講座）講師の派遣	A	UD・男女共同参画課
生涯学習施設における地域を活用した「子ども講座」実施 (目標：年 300 講座以上)	-	創造都市・文化振興課
こどもモットイナイ大作戦事業の実施（小学生参加率約 40%）	B	ごみ減量推進課
小学4年生への社会科副読本の配付及び配信	A	ごみ減量推進課

《学 校の取組》

(7)SDGsやESDを推進するために、どのような学習に取り組みましたか(複数回答)

(単位:%、比較:Pt)

取組内容	全体					小学校			中学校		
	R2	R3	R4	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比
環境学習	68.8	84.0	90.3	87.5	18.7	80.2	96.9	16.7	45.8	68.8	23.0
エネルギー学習	9.7	27.1	30.6	25.7	16.0	7.3	24.0	16.7	14.6	29.2	14.6
国際理解学習	17.4	29.9	33.3	35.4	18.0	17.7	35.4	17.7	16.7	35.4	18.7
防災学習	59.0	67.4	77.8	75.7	16.7	55.2	67.7	12.5	66.7	91.7	25.0
世界遺産や地域の文化財等に関する学習	27.1	26.4	27.8	34.7	7.6	29.2	34.4	5.2	22.9	35.4	12.5
平和学習	9.7	21.5	27.1	27.1	17.4	7.3	28.1	20.8	14.6	25.0	10.4
その他	8.3	11.1	5.6	4.2	△4.1	6.3	4.2	△2.1	12.5	4.2	△8.3

《教職員への調査》

24 単元構想の中に、地域や社会をよりよくするための視点を取り入れている (単位: %、比較: Pt)

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	64.9	64.4	65.1	65.4	0.5
小学校	66.3	66.3	67.5	68.1	1.8
中学校	62.4	61.0	61.1	60.8	△1.6

《児童生徒への調査》

20 地域や社会をよりよくすることを考えることがありますか

成果指標 R6 年度 70%

(単位: %、比較: Pt)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	70.1		69.4		66.7		△3.4
	小学校	4年	70.1	5年	74.4	6年	69.9	△0.2
	中学校	1年	70.2	2年	64.2	3年	63.5	△6.7
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	70.5		66.2		-		△4.3
	小学校	4年	73.9	5年	71.5	-		△2.4
	中学校	1年	66.4	2年	59.8	-		△6.6
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	0.4		△3.2		-		
	小学校	3.8		△2.9		-		
	中学校	△3.8		△4.4		-		

《保護者への調査》

9 地域社会をよりよくすることについて、お子さんと話をすることがありますか (単位: %、比較: Pt)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	53.5		54.4		56.1		2.6
	小学校	4年	51.4	5年	54.7	6年	57.0	5.6
	中学校	1年	55.5	2年	54.1	3年	55.2	△0.3
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	50.4		50.8		-		0.4
	小学校	4年	50.6	5年	50.0	-		△0.6
	中学校	1年	50.1	2年	51.6	-		1.5
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△3.1		△3.6		-		
	小学校	△0.8		△4.7		-		
	中学校	△5.4		△2.5		-		



成 果

○SDGsやESDの推進

- ・ 各課が提供する講座等によって様々な視点から学習が実施されていることが確認できました。今年度は、新型コロナウイルスの5類移行を踏まえ、講座の実施校や受講者数が増加しました。



課 題

○地域や社会をよりよくするための視点

- ・ 地域や社会をよりよくすることを考えることがある子供の割合は、昨年度と比較して小学校・中学校ともに数値が低下しており、特に中学校はグループ1を含め初めて6割を下回る結果となりました。
- ・ 全国学力・学習状況調査においても、中学校は小学校より低い傾向にあり、今後も学校での手立ての工夫や家庭での声掛けなど、継続的に取り組んでいく必要があります。



施策 3-5 豊かな心の育成

成果指標

※R5年度数値…G2全体の数値

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う子供の割合 R6 年度 100% R5 年度 ➡ 95.9%
人が困っているときは、進んで助けている子供の割合 R6 年度 90% R5 年度 ➡ 88.8%

■3-5-1 道德教育の充実

《関係課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
道德教育に関する指導力向上研修の実施	A	指導課
『はままつマナー』の活用促進	A	指導課

■3-5-2 人権教育の充実

《関係課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
市内全校での人権教育の実施、子供理解に関する教職員研修の実施	A	指導課
幼稚園・小中学校の保護者を対象とした、家庭における子どもへの人権教育の一助となる講座の実施	A	人権啓発センター
人権啓発絵本の作成及び幼稚園、小中学校などへの配付（3月予定）	A	人権啓発センター
校長・園長を対象とした人権教育指導者研修の実施	A	教育センター
初任者研修での人権教育講座の実施	A	教育センター

■3-5-3 読書活動の充実

《関係課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
必読図書、推薦図書を含む学級文庫の設置促進	A	指導課
読書活動推進に関する取組事例の紹介	A	指導課
「学校図書館支援センターだより」の発行（年2回見込）	B	中央図書館

■3-5-4 芸術に親しむ機会の提供

《関係課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
「子どもの市展」・「地下道ギャラリー」の開催	A	指導課
音響設備が整った地域施設を活用した音楽発表会の開催 (小学校 97 校、中学校 12 校)	A	指導課
オーケストラ鑑賞教室「こんにちはオーケストラ」の開催	A	創造都市・文化振興課
小中学校や音楽団体への音楽指導者の派遣（年間 360 時間）※3/1 時点	A	創造都市・文化振興課
展覧会ワークショップへの小中学生参加（48 人）	S	美術館
ギャラリートーク（ワークショップ等教育普及プログラムを含む）の実施 （年間 35 回）	S	美術館

《学 校の取組》

(8) 子供の豊かな心を育成するために、どのような取組をしましたか(複数回答) (単位: %、比較: Pt 以下同じ)

取組内容	全体					小学校			中学校		
	R2	R3	R4	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比
道徳教育に関する指導力向上のための校内研修の実施	46.5	55.6	47.9	56.3	9.8	41.7	51.0	9.3	56.3	66.7	10.4
「はままつマナー」を活用した指導実践	50.0	54.2	52.8	56.9	6.9	59.4	69.8	10.4	31.3	31.3	0
いじめ対策に関する校内体制の整備	89.6	91.7	93.8	95.8	6.2	90.6	94.8	4.2	87.5	97.9	10.4
生徒指導、人権課題に関する教員研修への参加促進	36.8	45.8	51.4	59.7	22.9	37.5	59.4	21.9	35.4	60.4	25.0
人権教育講座の開催	4.9	13.2	10.4	16.7	11.8	6.3	17.7	11.4	2.1	14.6	12.5
読書活動推進に関する取組	75.7	83.3	82.6	81.3	5.6	80.2	87.5	7.3	66.7	68.8	2.1
文化・芸術に触れる機会の設定	47.9	63.9	76.4	77.8	29.9	44.8	86.5	41.7	54.2	60.4	6.2
その他	9.7	3.5	1.4	2.8	△6.9	8.3	2.1	△6.2	12.5	4.2	△8.3

(9) いじめ対応への理解を深め、組織的な対応を促すためにどのような取組をしましたか(複数回答)

取組内容	全体			小学校			中学校		
	R4	R5	R5-R4 比	R4	R5	R5-R4 比	R4	R5	R5-R4 比
いじめ防止基本方針を理解し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応について共通理解した	94.4	99.3	4.9	95.8	100.0	4.2	91.7	97.9	6.2
たよりや懇談会、学校運営協議会などの機会を活用して保護者や地域にもいじめ防止基本方針や、その取組及び対応を周知した	45.8	93.8	48.0	49.0	96.9	47.9	39.6	87.5	47.9
教育委員会主催の生徒指導研修等の内容について、校内でも周知を図った	81.9	92.4	10.5	89.6	91.7	2.1	66.7	93.8	27.1
定期的なアンケート等に記載された内容や子供や児童からの相談について、複数で確認し、対応を協議したり進捗状況を共有したりした	95.8	100.0	4.2	95.8	100.0	4.2	95.8	100.0	4.2
事例研究等いじめに関する研修を行い、未然防止・早期発見・早期対応の視点から成果と課題を明らかにし、改善点について話し合った	65.3	71.5	6.2	70.8	75.0	4.2	54.2	64.6	10.4
その他	2.1	2.8	△0.7	3.1	3.1	0	0	2.1	2.1

《教職員への調査》

25 いじめはどんな理由があってもいけないことだと指導している (単位: %、比較: Pt 以下同じ)

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	99.8	99.7	99.8	99.5	△0.3
小学校	99.9	99.7	99.8	99.6	△0.3
中学校	99.6	99.6	99.9	99.4	△0.2

26 学校のいじめ防止基本方針を理解し、それに沿って行動するよう心掛けている

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	-	-	99.4	99.4	0
小学校	-	-	99.4	99.5	0.1
中学校	-	-	99.2	99.2	0

27 道徳科の授業等で、「はままつマナー」を活用して、命を大切にする心や規範意識について指導している

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	75.4	72.6	68.6	70.5	△4.9
小学校	84.0	80.5	78.2	79.9	△4.1
中学校	60.3	59.1	52.2	54.3	△6.0

《児童生徒への調査》

21 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

成果指標 R6 年度 100%

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	96.4		96.6		95.4		△1.0
	小学校	4年	96.6	5年	96.4	6年	95.6	△1.0
	中学校	1年	96.2	2年	96.7	3年	95.2	△1.0
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	96.1		95.9		-		△0.2
	小学校	4年	96.0	5年	95.7	-		△0.3
	中学校	1年	96.2	2年	96.1	-		△0.1
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△0.3		△0.7		-		
	小学校	△0.6		△0.7		-		
	中学校	0		△0.6		-		

22 いじめなど困ったことがあった時、先生に相談しやすいですか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	-		-		67.7		-
	小学校	4年	-	5年	-	6年	66.6	-
	中学校	1年	-	2年	-	3年	68.8	-
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	66.9		63.8		-		△3.1
	小学校	4年	68.9	5年	62.7	-		△6.2
	中学校	1年	64.5	2年	65.1	-		0.6
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	-		-		-		
	小学校	-		-		-		
	中学校	-		-		-		

23 人が困っているときは、進んで助けていますか

成果指標 R6 年度 90%

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	89.5		89.9		90.5		1.0
	小学校	4年	87.9	5年	89.2	6年	89.3	1.4
	中学校	1年	91.2	2年	90.5	3年	91.8	0.6
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	89.9		88.8		-		△1.1
	小学校	4年	89.1	5年	88.2	-		△0.9
	中学校	1年	90.8	2年	89.4	-		△1.4
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	0.4		△1.1		-		
	小学校	1.2		△1.0		-		
	中学校	△0.4		△1.1		-		

24 学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日にどれくらいの時間、読書をしていますか
(1時間以上の割合)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	15.3		13.5		13.4		△1.9
	小学校	4年	14.9	5年	15.4	6年	13.7	△1.2
	中学校	1年	15.6	2年	11.6	3年	13.0	△2.6
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	14.0		11.4		-		△2.6
	小学校	4年	15.4	5年	12.4	-		△3.0
	中学校	1年	12.4	2年	10.2	-		△2.2
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△1.3		△2.1		-		
	小学校	0.5		△3.0		-		
	中学校	△3.2		△1.4		-		

【参考】G2：1時間未満の割合

区分	R4		R5		R5-R4	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
30分～1時間	25.5	22.7	23.4	18.5	△2.1	△4.2
30分未満	37.3	35.0	36.8	34.9	△0.5	△0.1
全くしない	21.8	29.9	27.4	36.4	5.6	6.5

《保護者への調査》

10 相手の立場や気持ちを大切にしたい行動をするよう、お子さんに話をしていますか

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	98.3		98.0		97.7		△0.6
	小学校	4年	98.7	5年	98.4	6年	98.2	△0.5
	中学校	1年	97.9	2年	97.7	3年	97.2	△0.7
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	98.2		97.9		-		△0.3
	小学校	4年	98.3	5年	98.4	-		0.1
	中学校	1年	98.1	2年	97.3	-		△0.8
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△0.1		△0.1		-		
	小学校	△0.4		0		-		
	中学校	0.2		△0.4		-		

11 命の大切さやきまりを守ることの必要性を、お子さんに話をしていますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	98.5		98.4		97.9		△0.6
	小学校	4年	99.0	5年	98.5	6年	98.2	△0.8
	中学校	1年	98.0	2年	98.2	3年	97.5	△0.5
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	98.3		97.7		-		△0.6
	小学校	4年	98.3	5年	98.4	-		0.1
	中学校	1年	98.3	2年	97.0	-		△1.3
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△0.2		△0.7		-		
	小学校	△0.7		△0.1		-		
	中学校	0.3		△1.2		-		

12 いじめはどんな理由でもいけないことだと、お子さんに話していますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	-		-		97.4		-
	小学校	4年	-	5年	-	6年	97.9	-
	中学校	1年	-	2年	-	3年	97.0	-
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	97.4		97.8		-		0.4
	小学校	4年	96.9	5年	97.9	-		1.0
	中学校	1年	98.0	2年	97.7	-		△0.3
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	-		-		-		
	小学校	-		-		-		
	中学校	-		-		-		

13 学校のいじめ防止基本方針を知っていますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	-		-		42.8		-
	小学校	4年	-	5年	-	6年	42.2	-
	中学校	1年	-	2年	-	3年	43.4	-
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	40.3		45.1		-		4.8
	小学校	4年	40.4	5年	46.0	-		5.6
	中学校	1年	40.2	2年	44.0	-		3.8
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	-		-		-		
	小学校	-		-		-		
	中学校	-		-		-		

14 学校のいじめ防止等の取組(いじめについて考える授業や集会・いじめアンケートなど)を知っていますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	-		-		67.2		-
	小学校	4年	-	5年	-	6年	67.1	-
	中学校	1年	-	2年	-	3年	67.3	-
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	67.8		70.0		-		2.2
	小学校	4年	69.1	5年	70.3	-		1.2
	中学校	1年	66.3	2年	69.6	-		3.3
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	-		-		-		
	小学校	-		-		-		
	中学校	-		-		-		

《地域住民への調査》

2 学校のいじめ防止基本方針を知っていますか

(単位: %、比較: Pt)

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R4
全体	-	-	72.8	90.9	18.1
小学校	-	-	71.3	90.9	19.6
中学校	-	-	75.6	90.8	15.2



成 果

○いじめに対する組織的な対応

- ・ 教職員・児童生徒・保護者ともに「いじめは絶対に許されない」という認識が高い数値で維持できていることが確認できました。
- ・ 学校のいじめに対する組織的な対応を促す取組についても、全ての項目で数値が上昇しており、教育委員会と学校が一体となっていじめ防止や対応に取り組んでいる成果が伺えます。



課 題

○いじめ防止基本方針の周知

- ・ 学校いじめ防止基本方針を知っている保護者の割合に上昇が見られるものの、4割程度と低くなっています。学校いじめ防止の取組と併せて継続的に周知していくことが必要です。

○相談しやすい雰囲気醸成

- ・ 困ったことがあった時、先生に相談しやすいと回答した子供は6割程度となっています。誰もが相談しやすい雰囲気を醸成していくことや、様々な方法で悩みを打ち明けられる方策も検討していくことが必要です。

○読書習慣の定着

- ・ 授業以外で読書を全くしないと回答した子供の割合は、昨年度と比較して約6Pt～7Pt増加しており、特に中学校の上昇が大きくなっています。生徒の生活実態から時間を確保することが難しい面もありますが、引き続き日常的な読書習慣の定着に向けて取り組んでいく必要があります。

施策 3-6 健やかな体の育成

成果指標

※R5年度数値…G2全体の数値

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きな子供の割合

R6 年度 90% R5 年度 → 81.3%

体育の授業以外で、平均して1日に1時間以上体を動かす活動をしている子供の割合

R6 年度 70% R5 年度 → 53.0%

■3-6-1 健康教育の推進

《関係 課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
教職員を対象とした学校保健に関する研修の実施（年1回）	A	健康安全課
がん教育に係る小中学校への外部講師派遣（14人）	A	健康安全課

■3-6-2 安全・安心な給食の提供

《関係 課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施 ー…年度内算定不可

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
学校給食における地場産品（主要10品目）の活用（目標：35.0%）	ー	健康安全課
給食調理場の施設点検の実施促進（月4回）	A	健康安全課
各調理場の衛生管理責任者による日頃の衛生管理の徹底促進	A	健康安全課

■3-6-3 食に関する指導の充実

《関係 課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
学習指導要領に沿った食指導の実際についての研修会の実施（年3回）	A	健康安全課
朝食摂取啓発に関するリーフレットの配付と朝食摂取指導の啓発	A	健康安全課

■3-6-4 アレルギー対応の徹底

《関係 課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
アレルギー対応委員会及び食物アレルギーに関する校内研修の実施促進	A	健康安全課
栄養教諭・学校栄養職員、養護教諭等を対象とした研修会での、食物アレルギーに関する研修の実施（年6回）	A	健康安全課
食物アレルギーに関する小中学校間の情報交換会の実施促進	A	健康安全課

■3-6-5 運動習慣の確立と体力の向上

《関係課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取組 内 容	評価	担当
計画訪問や研修会等における、「新体力テスト」や「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の分析に基づく指導	A	指導課
保健体育科の教員を対象とした指導者研修会の実施	A	指導課
計画訪問や研修会等における、体力向上に関する取組事例の紹介	A	指導課
学校における課題克服に向けた取組表による、各校の取組状況の確認・指導	A	指導課

《学 校の取組》

(10) 子供の健やかな体の育成のために、どのような取組をしましたか(複数回答)

(単位: %、比較: Pt)

取組内容	全体					小学校			中学校		
	R2	R3	R4	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比
学校保健に関する校内研修の実施	52.1	61.8	61.8	67.4	15.3	42.7	65.6	22.9	70.8	70.8	0
がん教育の実施	12.5	27.1	18.8	23.6	11.1	8.3	18.8	10.5	20.8	33.3	12.5
保護者・子供に対する朝食摂取率向上のための啓発	58.3	75.7	83.3	79.2	20.9	59.4	77.1	17.7	56.3	83.3	27.0
「食物アレルギー対応マニュアル」に基づく校内研修の実施	85.4	88.2	84.7	88.9	3.5	81.3	85.4	4.1	93.8	95.8	2.0
健全な食生活を育む食育の実施	67.4	75.7	78.5	86.8	19.4	69.8	90.6	20.8	62.5	79.2	16.7
児童生徒の体力・運動能力の向上のための取組の実施(授業、部活動以外)	43.8	43.8	45.8	45.1	1.3	58.3	60.4	2.1	14.6	14.6	0
その他	6.9	1.4	3.5	2.1	△4.8	7.3	3.1	△4.2	6.3	0.0	△6.3

《教職員への調査》

28 運動することの必要性を子供に指導している

(単位: %、比較: Pt)

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	90.5	90.4	89.2	89.1	△1.4
小学校	94.4	94.3	93.6	93.6	△0.8
中学校	83.6	83.6	81.5	81.5	△2.1

《児童生徒への調査》

25 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか

成果指標 R6 年度 90%

(単位:%、比較:Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	84.0		81.0		78.9		△5.1
	小学校	4年	86.8	5年	81.7	6年	78.2	△8.6
	中学校	1年	81.1	2年	80.3	3年	79.6	△1.5
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	84.1		81.3		-		△2.8
	小学校	4年	86.8	5年	82.8	-		△4.0
	中学校	1年	80.8	2年	79.5	-		△1.3
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	0.1		0.3		-		
	小学校	0.0		1.1		-		
	中学校	△0.3		△0.8		-		

26 体育の授業以外で、平均して1日に1時間以上、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをしていますか (1時間以上の割合)

成果指標 R6 年度 70%

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	55.6		53.6		29.3		△26.3
	小学校	4年	41.2	5年	39.4	6年	35.5	△5.7
	中学校	1年	70.0	2年	68.2	3年	23.0	△47.0
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	52.9		53.0		-		0.1
	小学校	4年	42.6	5年	43.8	-		1.2
	中学校	1年	64.8	2年	64.1	-		△0.7
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△2.7		△0.6		-		
	小学校	1.4		4.4		-		
	中学校	△5.2		△4.1		-		

【参考】G2:1時間未満の割合

区分	R4		R5		R5-R4	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
30分~1時間	29.3	12.3	27.1	11.7	△2.2	△0.6
30分未満	21.6	14.9	20.4	14.0	△1.2	△0.9
全くしない	6.5	8.0	8.7	10.2	△2.2	△2.2

27 食事のときは、好き嫌いなく食べていますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	78.0		81.2		81.7		3.7
	小学校	4年	76.6	5年	78.3	6年	80.1	3.5
	中学校	1年	79.4	2年	84.1	3年	83.4	4.0
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	79.3		80.7		-		1.4
	小学校	4年	78.7	5年	78.4	-		△0.3
	中学校	1年	80.0	2年	83.4	-		3.4
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	1.3		△0.5		-		
	小学校	2.1		0.1		-		
	中学校	0.6		△0.7		-		

＜参考＞全国学力・学習状況調査				R1	R3	R4	R5
朝食を毎日食べていますか	全国	小6		95.3	94.9	94.4	93.9
		中3		93.1	92.8	91.9	91.2
	本市	小6		96.4	95.7	96.3	95.8
		中3		95.3	94.2	94.4	93.6

※R2 は中止

《保護者への調査》

15 心身の健康のため、できるだけ運動やスポーツをするようお子さんに働きかけていますか

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	85.6		84.5		80.7		△4.9
	小学校	4年	85.9	5年	84.8	6年	82.6	△3.3
	中学校	1年	85.3	2年	84.2	3年	79.0	△6.3
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	84.1		82.2		-		△1.9
	小学校	4年	83.8	5年	81.3	-		△2.5
	中学校	1年	84.4	2年	83.3	-		△1.1
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△1.5		△2.3		-		
	小学校	△2.1		△3.5		-		
	中学校	△0.9		△0.9		-		

- 16 お子さんは、学校(部活動)が休みの日に、1日にどれくらい運動やスポーツをしていますか
(1時間以上の割合)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	24.0		23.7		20.9		△3.1
	小学校	4年	29.4	5年	28.6	6年	28.6	△0.8
	中学校	1年	18.8	2年	18.6	3年	13.8	△5.0
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	26.0		27.4		-		1.4
	小学校	4年	30.9	5年	32.0	-		1.1
	中学校	1年	20.2	2年	22.2	-		2.0
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	2.0		3.7		-		
	小学校	1.5		3.4		-		
	中学校	1.4		3.6		-		

【参考】G2：1時間未満の割合 ※未入力

区分	R4		R5		R5-R4	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
30分～1時間	31.9	21.1	26.4	22.1	△5.5	1.0
30分未満	26.7	29.4	26.2	23.8	△0.5	△5.6
全くしない	10.5	29.3	15.4	31.9	4.9	2.6

- 17 お子さんに、食事は好き嫌いなく食べるよう促していますか

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	90.2		90.8		89.7		△0.5
	小学校	4年	90.9	5年	91.6	6年	90.2	△0.7
	中学校	1年	89.6	2年	90.0	3年	89.2	△0.4
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	90.0		89.1		-		△0.9
	小学校	4年	89.7	5年	89.0	-		△0.7
	中学校	1年	90.3	2年	89.2	-		△1.1
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△0.2		△1.7		-		
	小学校	△1.2		△2.6		-		
	中学校	0.7		△0.8		-		



成 果

○食に関する指導の組織的・計画的な実施

- ・ 学校の取組では、学校保健や食物アレルギーに関する校内研修、食育の実施などにおいて、数値の上昇が見られ、各学校が健やかな体の育成に向けて積極的に取り組んでいる状況が確認できました。
- ・ 全国学力・学調状況調査における朝食の摂取率は全国平均を上回っており、好き嫌いに関する調査項目はG1を含め大きな変動は見られない傾向となっています。朝食摂取啓発リーフレットの配付、学校での継続的な指導や家庭での声掛けなどにより、望ましい食習慣の定着が見られます。



課 題

○運動習慣の確立と体力の向上

- ・ 教職員への調査において、運動の必要性を子供に指導している割合が約9割、保護者への調査において、運動やスポーツをするよう子供に呼びかけを行っている保護者も8割を超えている一方で、運動やスポーツをすることが好きな児童生徒は、G1と同様の傾向が見られ、数値が低下しました。
- ・ 1日に全く運動をしない児童生徒の割合が増加しています。コロナ禍よりも大きく改善は見られるものの、今後の状況を観察していく必要があります。
- ・ 体育の授業以外で、平均して1日に1時間以上運動やスポーツをしている子供の割合は、小学生は約4割、中学生は約6割と昨年度と比べ変化は見られない状況でした。子供の運動能力や体力の低下が懸念されるなか、今後も体力・運動能力向上のための取組や、日常での運動習慣の定着に向けて更に取り組んでいく必要があります。



施策 3-7 災害や事故から命を守るための教育

成果指標

※R5年度数値…G2全体の数値

学校にいるときに地震が起きたら、どのように避難するか知っている子供の割合

 R6 年度 90% R5 年度 → 90.7% 

災害が起こったときのことについて家族と話し合った子供の割合

R6 年度 80% R5 年度 → 54.3%

■3-7-1 防災・減災教育の充実

《関係課の取組》 ※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
防災ノートの活用（活用率 100%）	A	健康安全課
教職員を対象とした、防災や学校安全に関する研修会の実施（年 1 回）	A	健康安全課

《学 校の取組》

(11) 子供を災害や事故から守るための教育として、どのような取組をしましたか（複数回答）

（単位：％、比較：Pt）

取組内容	全体					小学校			中学校		
	R2	R3	R4	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比	R2	R5	R5-R2 比
校内における実践的な防災訓練の実施	92.4	93.1	98.6	100.0	7.6	91.7	100.0	8.3	93.8	100.0	6.2
防災ノートを活用した、自助力・共助力の醸成	90.3	89.6	91.7	95.1	4.8	91.7	99.0	7.3	87.5	87.5	0
家庭における防災意識向上のための啓発	22.9	36.1	33.3	32.6	9.7	27.1	32.3	5.2	14.6	33.3	18.7
通学路における危険個所の確認	77.8	84.7	84.7	88.9	11.1	77.1	93.8	16.7	79.2	79.2	0
交通安全教室の開催	65.3	96.5	97.9	95.8	30.5	65.6	99.0	33.4	64.6	89.6	25.0
その他	6.3	6.9	2.8	4.9	△1.4	5.2	5.2	0	8.3	4.2	△4.1

《教職員への調査》

29 災害や事故から命を守り、安全を確保するための方法について、子供に指導している

（単位：％、比較：Pt）

対象	R2	R3	R4	R5	R5-R2
全体	98.8	98.3	98.0	97.9	△0.9
小学校	99.1	98.8	98.9	98.3	△0.8
中学校	98.3	97.7	96.5	97.1	△1.2

《児童生徒への調査》

28 学校にいたるときに地震が起きたら、どのように避難するか知っていますか

成果指標 R6 年度 90%

(単位: %、比較: Pt 以下同じ)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	91.2		92.6		92.6		1.4
	小学校	4年	93.1	5年	94.5	6年	94.7	1.6
	中学校	1年	89.4	2年	90.5	3年	90.5	1.1
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	89.6		90.7		-		1.1
	小学校	4年	92.2	5年	91.6	-		△0.6
	中学校	1年	86.7	2年	89.7	-		3.0
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△1.6		△1.9		-		
	小学校	△0.9		△2.9		-		
	中学校	△2.7		△0.8		-		

29 災害が起こったときのこと(避難する場所など)について家族と話し合いましたか

成果指標 R6 年度 80%

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	61.8		57.7		60.1		△1.7
	小学校	4年	62.3	5年	58.2	6年	60.3	△2.0
	中学校	1年	61.4	2年	57.2	3年	59.9	△1.5
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	58.4		54.3		-		△4.1
	小学校	4年	60.6	5年	53.5	-		△7.1
	中学校	1年	56.0	2年	55.3	-		△0.7
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△3.4		△3.4		-		
	小学校	△1.7		△4.7		-		
	中学校	△5.4		△1.9		-		

《保護者への調査》

18 災害が起こったときのことについて、お子さんと話し合いましたか

(単位: %、比較: Pt)

G1	区分	R2		R3		R4		R4-R2
	全体	79.5		77.1		78.9		△0.6
	小学校	4年	78.8	5年	76.8	6年	79.0	0.2
	中学校	1年	80.0	2年	77.4	3年	78.8	△1.2
G2	区分	R4		R5		R6		R5-R4
	全体	77.7		75.2		-		△2.5
	小学校	4年	78.4	5年	75.1	-		△3.3
	中学校	1年	76.9	2年	75.4	-		△1.5
差	区分	G2-G1		G2-G1		G2-G1		
	全体	△1.8		△1.9		-		
	小学校	△0.4		△1.7		-		
	中学校	△3.1		△2.0		-		



成果

○防災教育・学校安全の充実

- ・ 学校の取組では、防災や交通安全に関する取組の数値の上昇が見られ、自然災害や交通事故に対する関心の高さが伺えます。
- ・ 教職員への調査でも、災害や事故から命を守り、安全を確保するための指導をしている教職員は継続して高い数値にあり、各学校で防災教育・学校安全に取り組んでいる状況が確認できました。
- ・ 学校にいるときに地震が起きたら、どのように避難するか知っている子供の割合は、増減があるものの、肯定的な回答は全体で9割を超え、今年度も成果指標を達成しました。



課題

○子供と保護者の意識の差

- ・ 成果指標である、災害が起こったときのことについて家族と話し合った子供の割合は約5割と継続して低い傾向にあり、目標から大きく乖離をしています。
- ・ 一方で、保護者への調査では、災害が起こったときのことについて子供と話し合った割合は7割を超えており、子供と保護者では、その意識に乖離が見られます。
- ・ 家庭における防災意識向上のための啓発は、他の取組に比べて低い数値となっています。防災に関する意識が高まっている中、子供と保護者における意識の乖離を縮めていくために、今後の取組を検討していく必要があります。

施策 3-8 育ちや学びのつながりを重視した教育

■3-8-1 園・学校の連携

《関係課の取組》

※評価：S…計画より進んでいる A…計画どおり B…遅れている C…未実施

R5 年度 取 組 内 容	評価	担当
中学校区幼小中合同研修会の実施を促進	B	教育総務課
園と小学校の職員間の連携体制強化に向けた啓発	A	幼児教育・保育課
園児と児童の交流の啓発	B	幼児教育・保育課